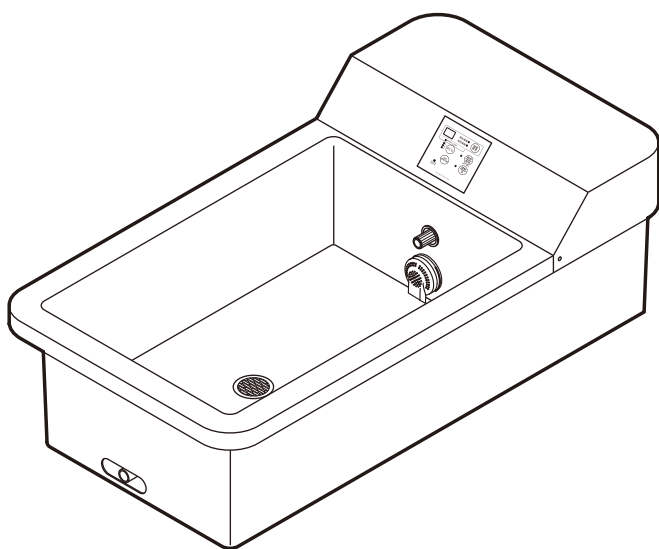


24 時間風呂搭載

オールインワン 足湯ユニット CA-151V



- このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書を必ずよく読み、読んだ後はいつでも見られるように大切に保管してください。
- 設置工事はおお客様ご自身で行わず、販売店にご依頼ください。
- 正しく使用されなかった場合の製品の故障・事故について、当社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
- ご使用前に本機の各部に異常のないことを必ず確認してください。また、各部に亀裂、破損、へこみ、曲がり、ゆるみなどの異常が生じた場合は使用しないでください。

取扱説明書

保証書別添付

もくじ

1. 安全上のご注意 必ずお守りください 1

2. 各部のなまえ

浴槽	5
24時間風呂本体	6
操作パネル	7
漏電保護プラグ	8
付属品	9

3. 設置工事 10

4. 準備

ろ過材のセット	14
むかえ水と運転開始	15

5. 使用方法

運転の入／切	16
エラー表示の解除	16
好みの浴水温度に設定する	16
静音運転	17
高速運転	18
ECOモード運転	19
浴水使用日数の確認方法	22
気泡浴運転	23

6. 点検とお手入れ

日常の点検	24
日常のお手入れ	24
トップフィルターの洗浄方法	25
ろ過材の洗浄方法	26
配管の洗浄方法	30
紫外線ランプとグロー球の交換方法	34
長期間使用しないときは	38

7. 異常とその処置

エラー表示	39
故障かなと思ったら	42

8. アフターサービス 44

9. 仕様 45

10. その他 46

1. 安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

 警告	死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。
 注意	軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を次の区分で説明しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	実行しなければならない「指示」内容です。

警告

設置について

- 本機の設置、移動はお買い上げの販売店に依頼してください。
- 本機は専用電源でご使用いただくため、電気工事が必要になる場合があります。お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。
工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります。
- 専用回路の増設、契約アンペアの変更は別途料金となります。販売店と予めご相談ください。
- 使用中やお手入れのとき、または万一の水漏れ発生時は浴槽ユニット周辺が水で濡れる場合があります。設置場所は多量の水に濡れても問題ない場所を選んでください。



設置条件

- 浴槽の水が排水できる場所で、多量の水に濡れても支障のない場所に設置してください。
- シャワー等の水が直接かからない場所に設置してください。
- 水平で安定した場所に設置してください。
- 周辺に落下物の恐れがある場所には設置しないでください。



電源について

- 本機に表示してある電源（電圧、周波数）を使用してください。
（表示以外の電源を使用すると故障の原因になります）
- 専用電源を設け、他の機器とたこ足配線しないでください。
- 電源コードを途中で切断または、継ぎ足ししないでください。
（断線や接触不良などにより、感電、火災、故障の原因になります）

1. 安全上のご注意 必ずお守りください

警告

アースの接続

- 必ずアースを接続してください。
(アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります)
- アースはガス管、水道管、電話のアース線等に接続しないでください。



アース工事

異常時

- 使用中に異臭がするなど、異常を感じたときは運転を停止して漏電保護プラグを抜いてください。
(異常のまま運転を続けると、感電、火災、故障の原因になります)



必ず守る

分解禁止

- 本機を分解、改造しないでください。
(故障や誤作動の原因になります)



分解禁止

使用上

- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
誤った取り扱いをすると、人身事故（レジオネラ感染症を含む細菌感染）や家財の損害に結びつく恐れがあります。
- トップフィルターやフィルターセットを取り外したまま使用しないでください。
- 使用中または浴室内でフィルターセットを分解しないでください。
- 入水口や出水口に手や足などを入れたりふさいだりしないでください。
(特に子供や小さなお子様には注意してください)
- 50℃以上の熱湯は使用しないでください。
- 足湯以外の目的で使用しないでください。
- 急性疾患、悪性腫瘍、高熱、心臓障害、妊娠されている方、体調に異常を感じた場合は使用を中止し専門医に相談してください。
- 浴槽に水が満たされているときは子供や小さいお子様の転落にはくれぐれもご注意ください。

雷が鳴っているとき

- 雷が予測されるときは火災や感電、製品の故障を防ぐため、早めに運転を停止して漏電保護プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷が鳴り出したらなるべく本機や漏電保護プラグには触らないでください。
(落雷により感電する恐れがあります)



接触禁止



漏電保護プラグを
コンセントから抜く

漏電保護プラグと電源コード

- 漏電保護プラグをコンセントへ差し込むときは確実に差し込んでください。
- ぬれた手で漏電保護プラグに触れないでください。
- 漏電保護プラグに水をかけないでください。
- 漏電保護プラグをコンセントから抜くときは電源コードを引っ張らないでください。必ず漏電保護プラグ全体を持って抜いてください。
- 電源コードを束ねて使用したり、無理に曲げたり、ドア等に挟まないでください。
(電源線の断線または発熱により、事故・故障の原因になります)



水かけ禁止



ぬれ手禁止

1. 安全上のご注意

必ずお守りください



用途

- 本機は浴槽ユニット内の浴水の浄化、保温を目的としています。それ以外の目的には使用しないでください。また、足湯以外の目的には使用しないでください。
- 使用のしかたによっては浴水の浄化に時間がかかる場合があります。
- 浴水として使用可能な水は水道水、または飲み水として使用可能な井戸水です。
- ペットなど、動物を浴水に入れないでください。また、それらと一緒に使用しないでください。

足湯使用時

- 本機の温度表示は目安温度ですので、実際の温度と異なる場合があります。使用するときには必ず湯加減を確かめてからご使用ください。
- あらかじめ足の汚れ（毛玉など）を落としてから使用してください。
- 浴槽にタオルを入れないでください。お湯が汚れたり菌が繁殖しやすくなり疾病を起こす原因となることがあります。
- 体に傷、化膿症がある方は幹部を浴槽内のお湯につけないでください。傷口から菌が入ったり傷口の菌が浴槽に持ち込んだりすることがあり感染の原因になることがあります。
- 体調の思わしくない方は気泡浴を使用しないでください。浴水のエアロゾル（目に見えない水粒子）が発生した場合に細菌を吸い込み疾病を起こす原因になることがあります。また、血圧の上昇などにより思わぬ事故の原因になることがあります。

点検・お手入れ

- 本機の点検・お手入れは必ず定期的に行ってください。
- 浴槽に付着した湯あかや汚れは毎日の最終利用者の後、スポンジなどでふき取ってください。
湯あかや汚れが付着したままにしておくと細菌などが繁殖しやすくなり、菌による疾病を起こす原因になることがあります。
- トップフィルターは毎日洗浄してください。
- 浴水の交換は1週間に1度以上行い、同時に浴槽を掃除してください。
- ろ過材の洗浄は1か月に1度以上行ってください。配管洗浄するときは浴槽の掃除も行ってください。
- 操作部の「紫外線ランプ交換」が点灯または点滅したら、紫外線ランプとグロー球を交換してください。
- 使用しないときは浴槽に蓋をしてください。

1. 安全上のご注意

必ずお守りください

お願い

浄化の促進のため

- 本機は微生物による浄化方式です。浄化の安定には時間がかかります。
- 浄化性能が安定するまで静音運転は使用しないでください。循環量が減り浄化の安定が遅くなります。
- 設置直後、ろ過材の洗浄の具合によって浴水が白濁することがありますが、本機の異常ではありません。お湯を入れ替えるなどして継続してご使用ください。なお、新しいろ過材を使用するときはろ過材を流水ですすぎ洗いしてからご使用ください。
- 水道水以外の水をご使用になる場合、水質によっては濁ることがあります。また一度に多人数が使用した場合も浴水が濁ることがあります。この場合は浴水の交換時期を早めてください。
- 薬を常時服用されている方やアトピー性皮膚炎の方などが使用する場合、フィルターやろ過材の洗浄、交換時期が通常より早まることがあります。

洗浄、入浴剤の使用

- 浴槽内でシャンプー、洗剤は使用しないでください。
- 指定以外の入浴剤、果物や薬草、温泉水、飲用に不適な井戸水は使用しないでください。
(浄化能力の低下や、配管を傷めることがあります)
- 浴槽を洗浄するときは、本体内に洗剤が入らないよう注意してください。

補助用具

- 本機の付属品および指定のもの以外は使用しないでください。

長期間使用しないとき

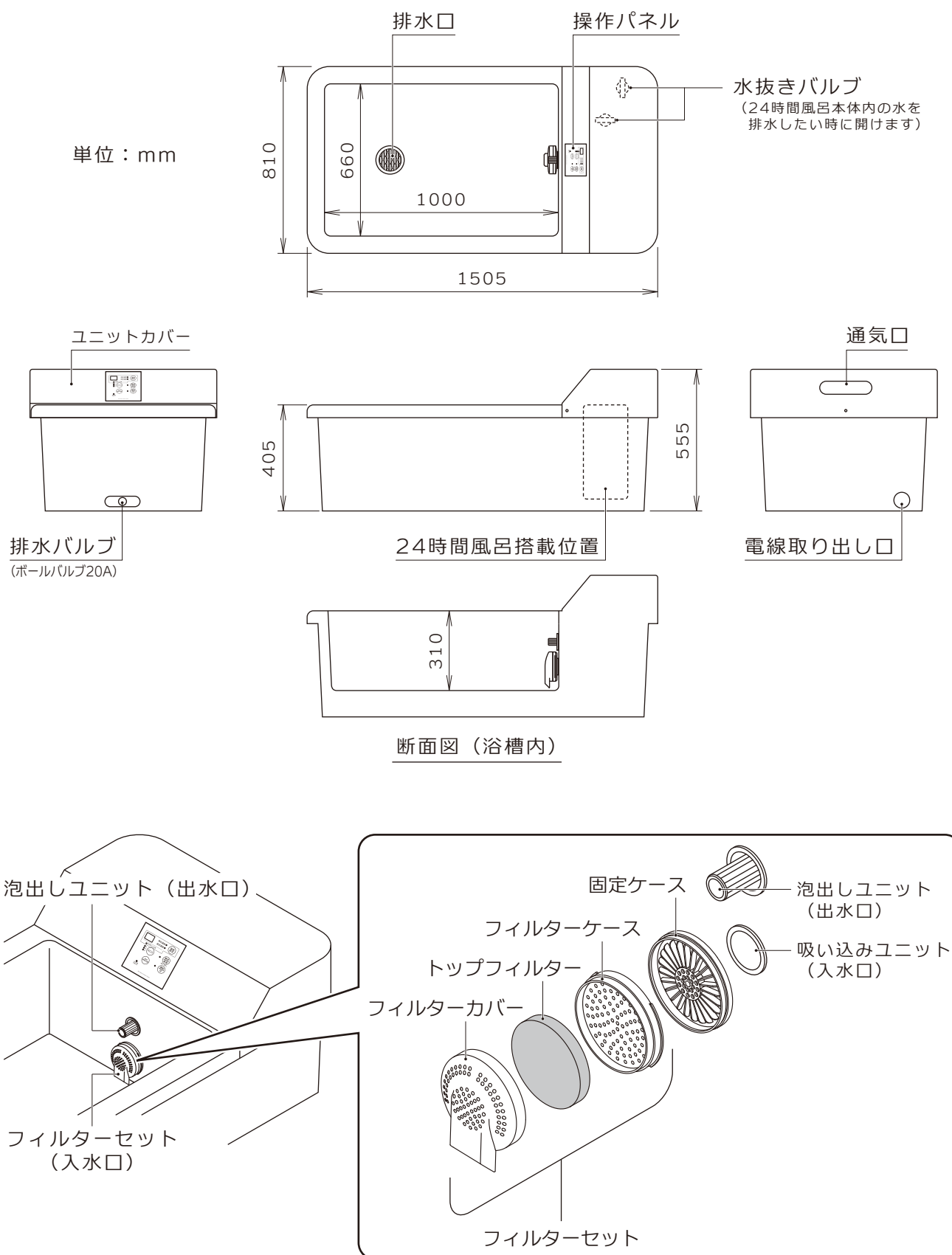
- 長期間使用しないときは配管、ろ過材、トップフィルターを洗浄し本体内部の水抜きと乾燥をできるだけ行ってから保管してください。

レジオネラ属菌について

- レジオネラ属菌は自然界の土壌や淡水（川、湖）20℃以上の水の停滞または循環している人工環境水にも生息し、日常生活で接触する可能性の高い菌で41菌種が確認されていますが、健康な成人の場合は、菌と接触しても発症することは少ないとされています。
- 感染する可能性があるのは、菌が生息する砂塵や菌に汚染された目に見えない水粒子を呼吸器に吸い込まれたような場合で、菌を含んだ浴槽水に触れただけでは発症することはありません。また人から人への感染はありません。
- 特に注意しなければならないのは免疫力の低い方で、新生児、病弱な高齢者、病気治療のために免疫力が低下している方などは、発症すると肺炎を主症状とする、高熱、咳、悪寒などの臨床症状が現れます。
- 感染を防ぐために本機の取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いいただくことが大切です。

2. 各部のなまえ

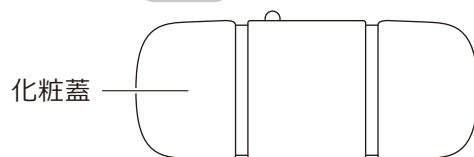
浴槽



2. 各部のなまえ

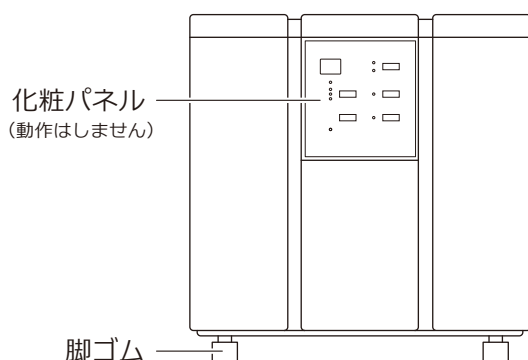
24 時間風呂本体

天面



化粧蓋

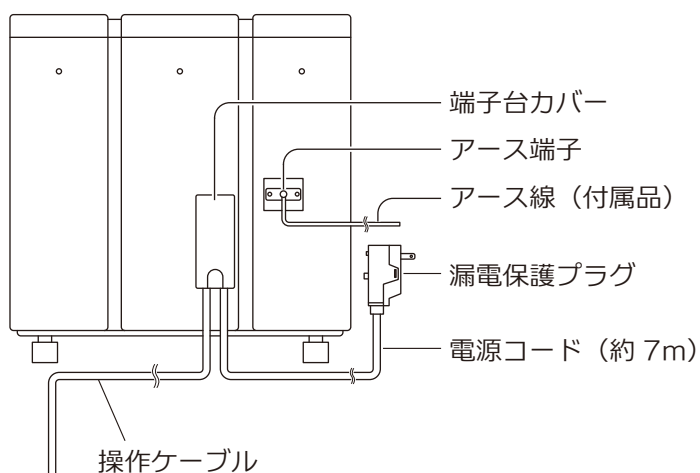
正面



化粧パネル
(動作はしません)

脚ゴム

背面



端子台カバー

アース端子

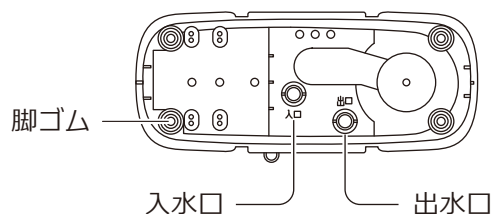
アース線 (付属品)

漏電保護プラグ

電源コード (約 7m)

操作ケーブル

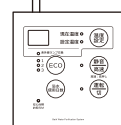
底面



脚ゴム

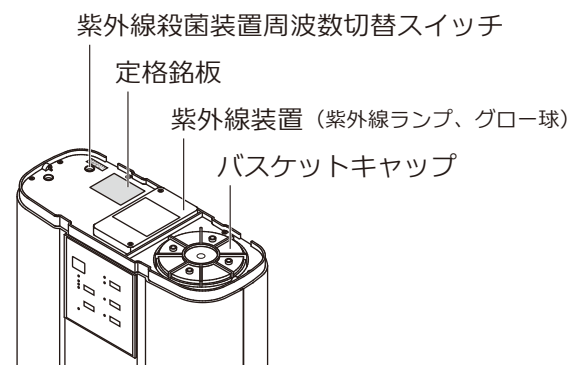
入水口

出水口



操作パネル
(ユニットカーバーに取り付け済み)

化粧蓋を外した天面



紫外線殺菌装置周波数切替スイッチ

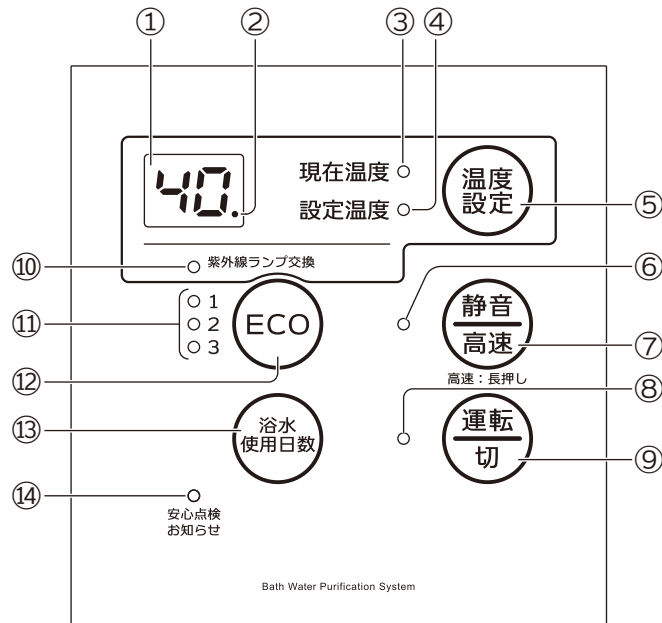
定格銘板

紫外線装置 (紫外線ランプ、グロー球)

バスケットキャップ

2. 各部のなまえ

操作パネル



① 温度表示部

- ・浴水温度を表示
- ・ECOモードの設定時間表示
- ・設定温度を表示
- ・高速運転の間欠運転を表示
- ・浴水の使用期間を表示
- ・紫外線ランプ交換時の異常表示
- ・エラー表示

② ヒーターランプ

ヒーター通電中に点灯

③ 現在温度ランプ

温度表示部に現在の温度を表示しているとき点灯

④ 設定温度ランプ

浴水温度設定中に点灯
(このとき温度表示部に設定温度を表示します)

⑤ 温度設定スイッチ

- ・浴水の温度を設定
(31℃、37～45℃またはヒーター OFF)
- ・「OF」表示のときは「ヒーター切」で運転
- ・高速運転時、間欠運転の切り替え

⑥ 静音 / 高速ランプ

通常運転中：消灯
静音運転中：点灯
高速運転中：点滅

⑦ 静音 / 高速スイッチ

- ・約8時間静音で運転する（時間変更可）
- ・長押しすると高速運転する

⑧ 運転ランプ

- ・運転中に点灯
- ・エラー表示のとき点滅

⑨ 運転スイッチ

- ・運転の入／切（運転の入／切は必ずこのスイッチで行ってください）
- ・運転開始時、本体内部からカチカチと電子部品の作動音がします
(故障や異常ではありません)
- ・エラー表示の解除

⑩ 紫外線交換ランプ

- ・紫外線ランプの交換時期に点灯または点滅します
- ・点灯または点滅したとき約30秒に1回、温度表示部にを表示します

⑪ ECOランプ

ECOモード運転中に点灯、設定中は点滅

⑫ ECOスイッチ (p.19)

- ・押してECOランプを点灯させると「ヒーター切」運転を行い、節電運転します
- ・初期設定では、ランプ1個点灯毎5時間の節電運転を行います
- ・ECOモードの設定時間を変更するときに使用します

⑬ 浴水使用日数スイッチ (p.22)

- ・浴水の使用日数を確認したいときに使用します
- ・浴水を交換したとき、浴水使用日数のクリア操作に使用します

⑭ 安心点検お知らせランプ

- ・お客様に安心点検をお知らせするランプです
- ・このランプが点滅したら必ず、販売店に点検をご依頼ください
(点検は有料です)

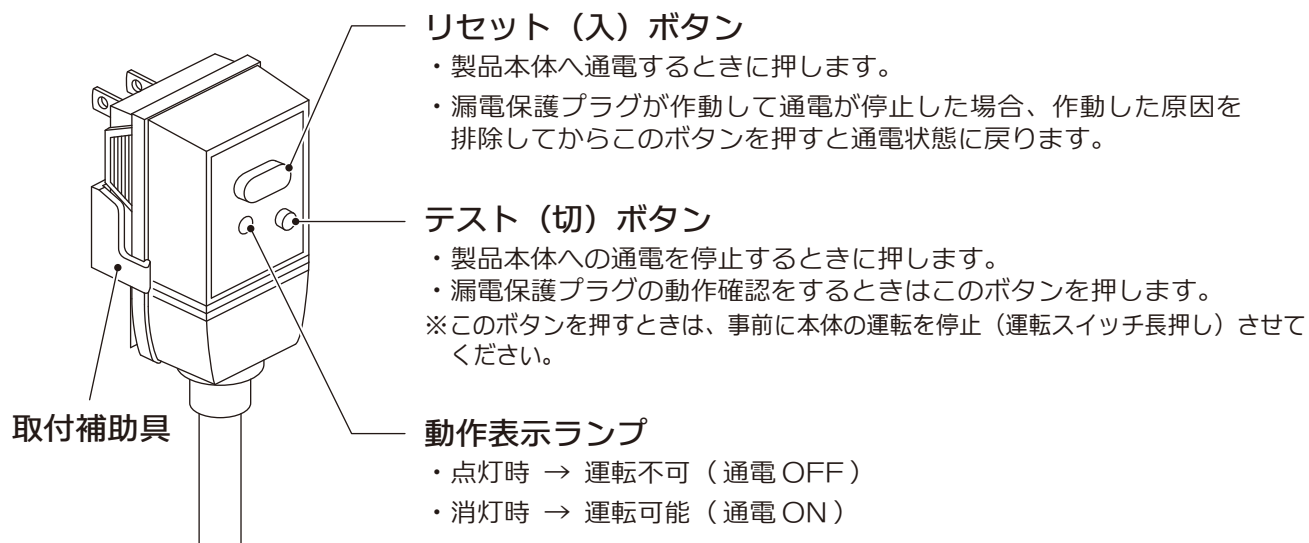
※お客様に製品を安全に長期間ご使用いただくため、「長期使用安全点検・表示制度」の主旨に準じて、製品の経年劣化等による製品の重大事故を防止するための機能です

※本機は安心点検お知らせランプが点滅した場合でも継続してご使用になれますが、お客様に安心してご使用いただくため、このランプが点滅したら早めに販売店に点検を依頼してください。

製品出荷時、操作パネルの表面には半透明の保護フィルムが貼ってあります。はがしてお使いください。

2. 各部のなまえ

漏電保護プラグ

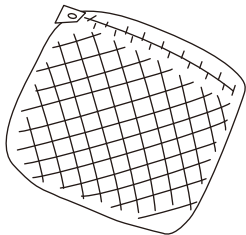
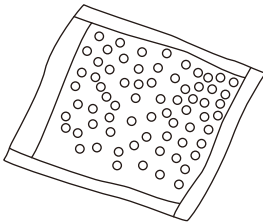
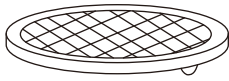
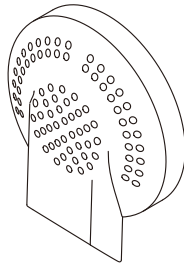
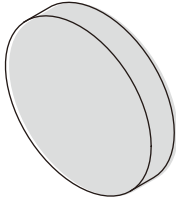
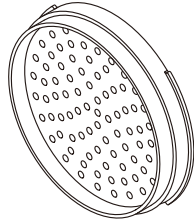
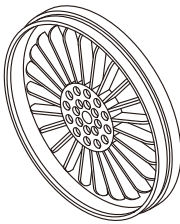
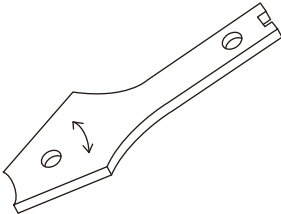


※動作表示ランプが消灯しているのに製品本体が動作しないときは、住宅用分電盤のブレーカーが落ちていないか確認してください。

2. 各部のなまえ

付属品

(※) は消耗品

□ ろ過材ネット (※)  2個	□ ろ過材 (※)  2袋	□ バスケット底網  1個
□ フィルターカバー  1個	□ トップフィルター (※)  1個	□ フィルターケース  2個
□ フィルターカバー  1個	□ ハンドル  1個	□ ネジ (ワッシャ付き)  3個

その他

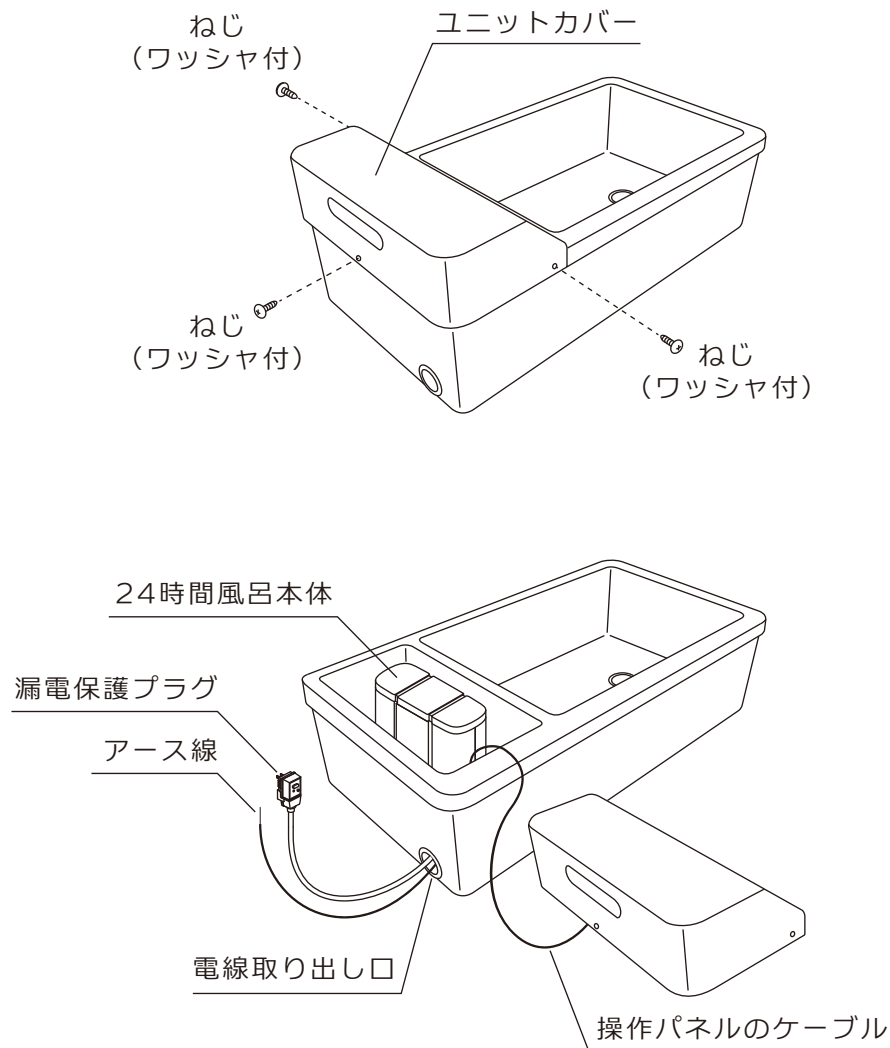
- 取扱説明書
- 保証書

3. 設置工事（電気工事）

電気工事は販売店（工事店）のためのものです。
お客様が設置工事を行わないでください。

電線の取り出しと操作ケーブルの接続

- 1 ユニットカバーの固定ねじ（3個）を外し、ユニットカバー全体を持ち上げて浴槽から取り外す。
- 2 電線取り出し口から漏電保護プラグ付き電源コードとアース線を引き出し、漏電保護プラグとアース線をコンセントに接続する。（p.11～12）
- 3 ユニットカバーの操作パネルケーブルを、本体背面から配線されているケーブルと接続する。
- 4 運転の準備（p.14～15）を行い、本機が正常に運転することを確認してからユニットカバーを浴槽に固定する。



⚠ 注意

操作パネルケーブルを本体と接続した後、操作パネルのケーブルを無理に引っ張らないように注意してください。

3. 設置工事（電気工事）

電気工事は販売店（工事店）のためのものです。
お客様が設置工事を行わないでください。

アース工事

- 万一の漏電発生時に備え、必ずアース工事を行ってください。
- 付属のアース線をコンセントのアース端子に接続するか、アース棒（市販品）を地面に打ち込んでから、アース棒と本体背面のアース端子を接続してください。

⚠ 注意



アース工事は電気工事士の有資格者が行ってください。
法令によりD種接地工事が義務づけられています。
（より安全をはかるため接地抵抗は100Ω以下にしてください）



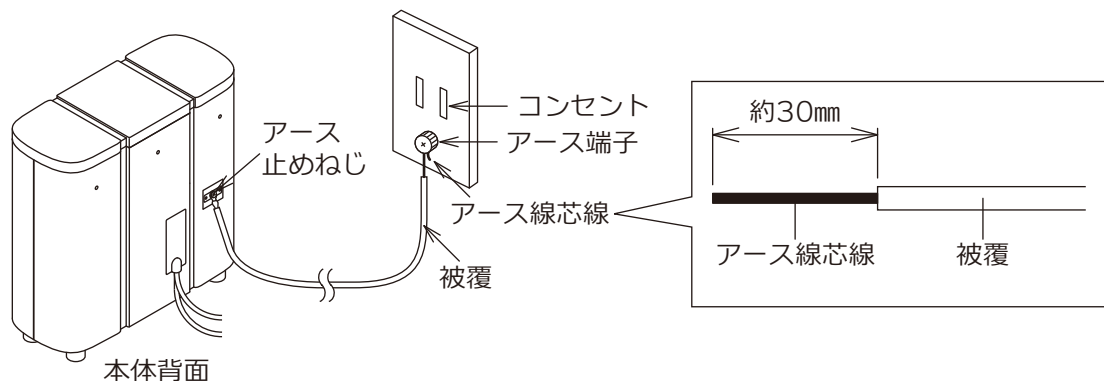
アース線はガス管、水道管、電話のアース線などには接続しないでください。

間違った例



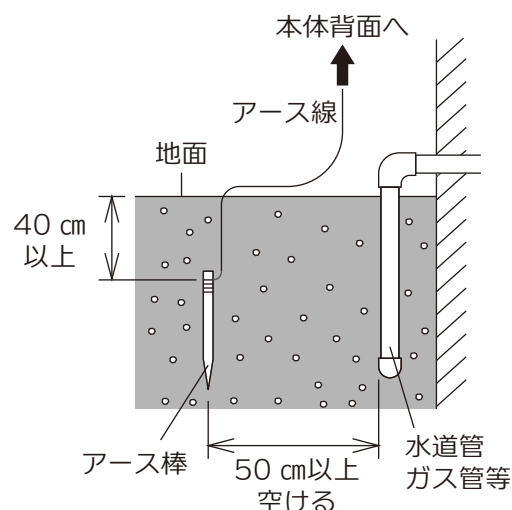
コンセントのアース端子に接続する場合

- 1 アース線の端子をコンセントのアース端子に確実に固定する。
- 2 本体背面のアース端子に付属のアース止めねじでアース線を接続する。
※アース止めねじは緩みのないように、プラスドライバーでしっかり締め付けてください。



アース棒を使用する場合

- 1 できるだけ日陰など湿気の多い地面を選ぶ。
- 2 地面を約 40 cm 掘る。
- 3 アース棒（市販品）を打ち込む。
※アース棒の上端から地面まで、40 cm 以上になるよう打ち込んでください。
※近くに水道管、ガス管が埋まっている場合は、それらから 50 cm 以上間隔を開けてアース棒を打ち込んでください。
- 4 本体背面のアース端子に付属のアース止めねじでアース線を接続する。
※アース止めねじは緩みのないように、プラスドライバーでしっかり締め付けてください。



3. 設置工事（電気工事）

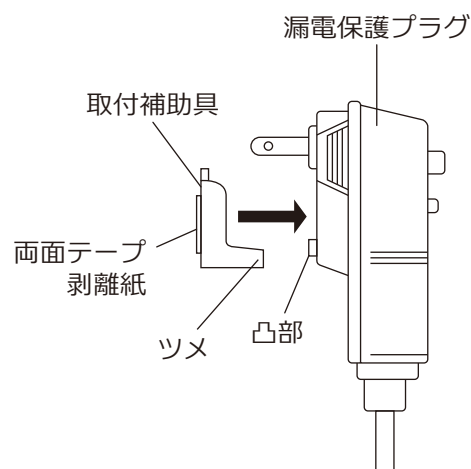
電気工事は販売店（工事店）のためのものです。
お客様が設置工事を行わないでください。

漏電保護プラグの設置方法

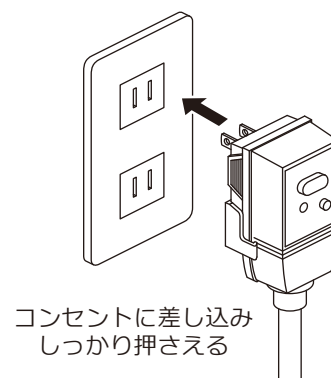
- 漏電保護プラグは必ず取付補助具を使用してコンセントにしっかり取り付けてください。
- コンセントは本機専用コンセントとして使用してください。

1 コンセント全体にホコリや汚れがある場合は事前に取り除いておく。

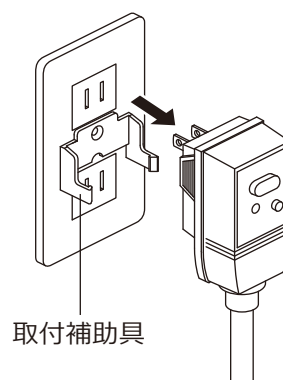
2 取付補助具を漏電保護プラグの凸部に合わせ、取付補助具のツメ（左右2か所）が漏電保護プラグに引っかかるまで押しあてる。



3 取付補助具の両面テープの剥離紙をはがす。



4 漏電保護プラグをコンセントにしっかり差し込み、漏電プラグ全体をコンセント側に軽く押しあてて両面テープを接着させる。



漏電保護プラグをコンセントから取り外すときは、取付補助具がコンセント側に残るように外してください。

⚠ 注意

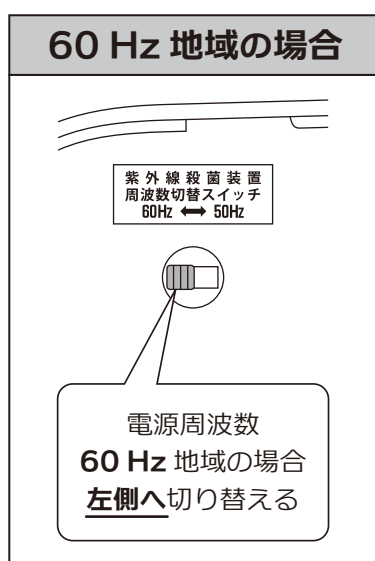
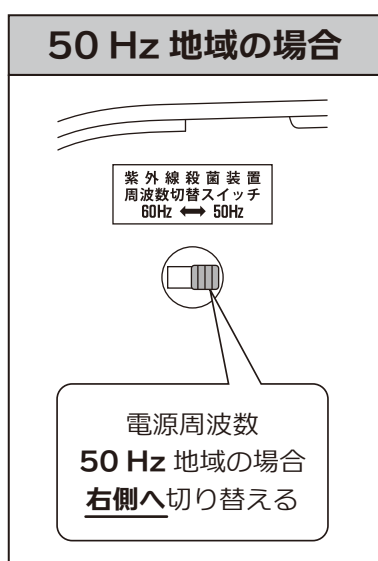
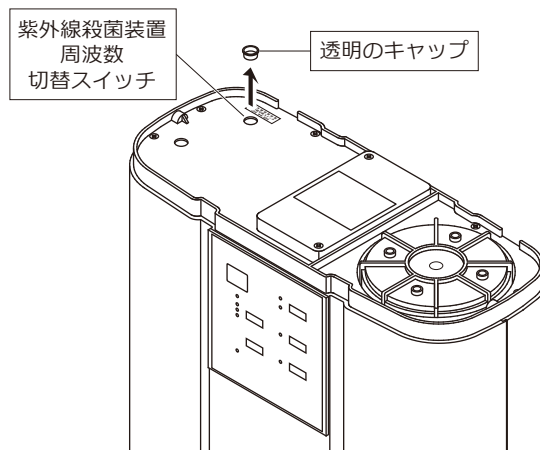
- 漏電保護プラグをコンセントに差し込むとき、逆さまに差し込まないでください。
- 漏電保護プラグをタコ足配線や延長コードには接続しないでください。
- コンセントは本機専用として使用してください。コンセントが2口用または3口用を使用する場合、他の口のコンセントは使用しないでください。

3. 設置工事

紫外線殺菌装置の周波数を切り替える

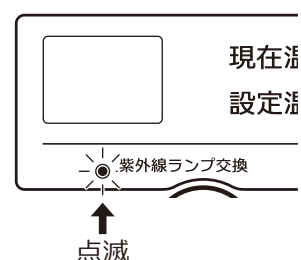
- 必ず紫外線殺菌装置の周波数を、地域に合った電源周波数に切り替えてください。
- 設置工事終了後、操作パネルの「紫外線交換ランプ」が点滅しないことを確認してください。

- 1 本体の化粧蓋を外し、「紫外線殺菌装置周波数切替スイッチ」の透明キャップを外す。
- 2 先の細いもので「紫外線殺菌装置周波数切替スイッチ」を切り替える。
(工場出荷時は 50 Hz にセットされています。)
- 3 透明キャップと化粧蓋を元通り取り付け。
(透明キャップは必ず元通りに取り付けてください。外したまま使用していると、本体内部に水が浸入して故障する場合があります。)



⚠ 注意

- 電源周波数を間違えたまま使用すると紫外線ランプの性能が発揮できません。また、紫外線ランプの寿命が短くなることがあります。
- 設置直後、操作パネルの「紫外線ランプ交換」が点滅しているときは、「紫外線殺菌装置周波数切替スイッチ」がずれている場合があります。
また、スイッチが正常な位置にあるにもかかわらず紫外線交換ランプが点滅する場合は、一度スイッチを左右にスライドさせてから、再度地域にあった電源周波数に切り替えてください。



4. 準備

ろ過材のセット

■設置後、初めて運転を開始するとき、または新しいろ過材を使用するときは次の手順で本体にセットしてください。

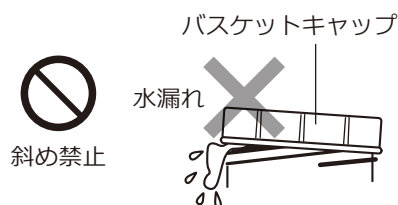
■24 時間風呂本体の化粧蓋を開ける前に、浴槽のユニットカバーの固定ねじ3個を外してからユニットカバーを取り外してください。
また、ろ過材をセットし終えてバスケットキャップを閉めたら浴槽にユニットカバーを取り付け、ねじ3個で固定してください。

- 1 ろ過材ネットにろ過材を入れ、水道水の流水ですすぎ洗いする。
- 2 24 時間風呂本体の化粧蓋を外し、付属品の締付ハンドルでバスケットキャップを開け、内蓋を外す。
- 3 バスケット底網の突起側を下に向けてバスケット入れる。
- 4 ろ過材入りのろ過材ネット（2袋）を1袋ずつ順番に、バスケットへ入れる。
- 5 バスケット内部側面の横穴がつかるまで、バスケットにお湯（ぬるま湯）を入れる。
- 6 バスケットに内蓋をかぶせ、バスケットキャップを締付ハンドルで閉める。

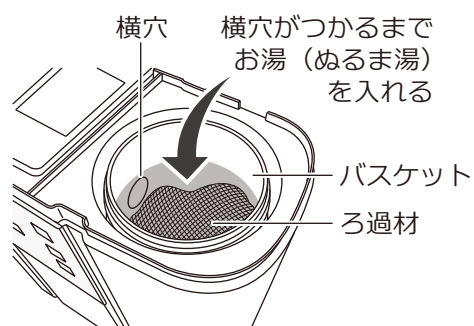
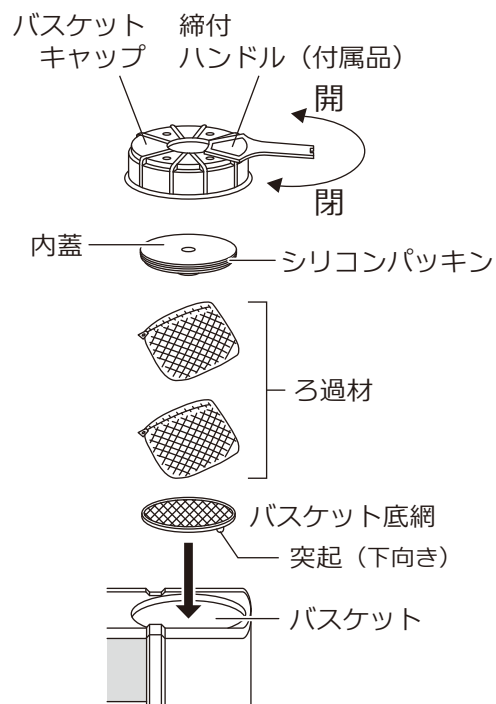
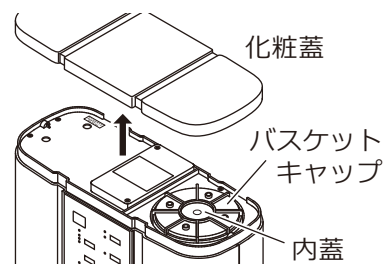
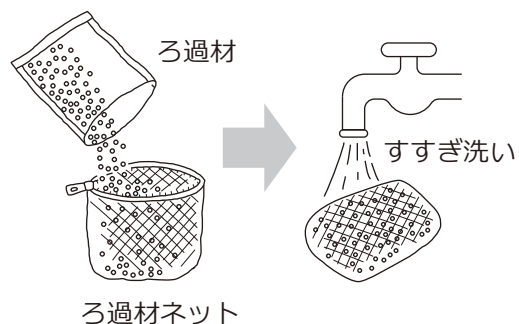
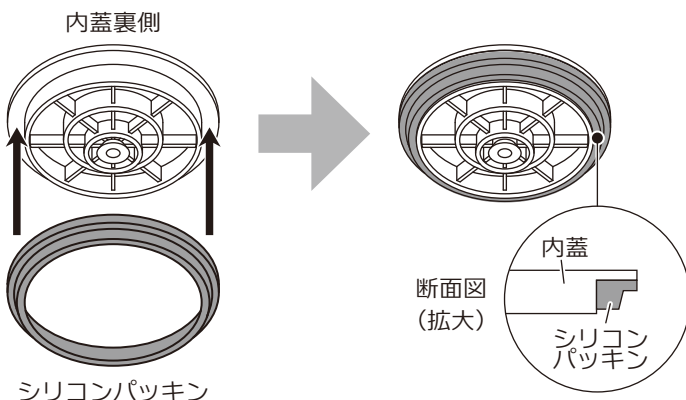
※内蓋をかぶせるときは、シリコンパッキンが正しく取付けられているか確認してください。

⚠ 注意

- バスケットキャップと内蓋は本体と水平になるように閉め、付属品の締付ハンドルで締め込んでください。
- バスケットキャップと内蓋を斜めに取付けたり、確実に閉まっていないまま運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。



- 水漏れ防止のため、内蓋を脱着するときはシリコンパッキンが傷んでいないか、正しい位置（下図）に取付けられているか確認してください。



4. 準備

むかえ水と運転開始

■初回設置時またはお手入れ等で浴水をすべて排水した後、運転を再開するときは下記の手順でむかえ水を行ってから運転を開始してください。むかえ水をしないまま運転を開始するとエラー表示して運転を停止します。また、本機の故障の原因になります。

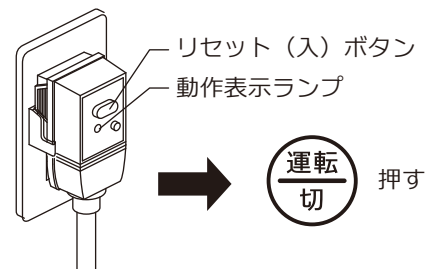
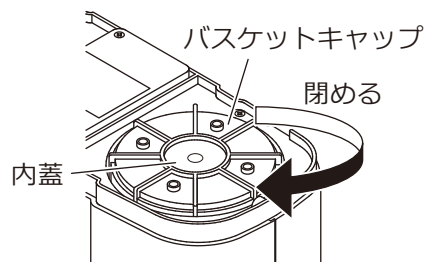
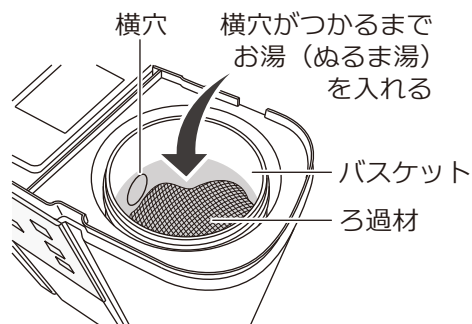
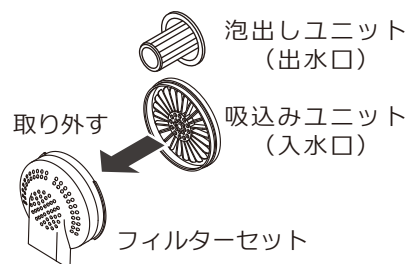
- 1 吸込みユニットからフィルターセットを外す。
- 2 浴槽にお湯（ぬるま湯）を入れ、泡出しユニットを超えるまでためる。
※浴槽に直接 熱湯を入れないでください。
泡出しユニットが変形することがあります。
※水を入れた場合は設定温度に沸き上がるまで時間がかかる場合があります。
- 3 24 時間風呂の化粧蓋、バスケットキャップ、内蓋を取り外す。
- 4 バスケット内側の横穴が見つかるまでお湯（ぬるま湯）を入れ、バスケットに内蓋をかぶせてバスケットキャップを閉める。
- 5 漏電保護プラグをコンセントに差し込み、漏電保護プラグのリセット（入）ボタンを押す。
※動作表示ランプが消灯し、本体に通电されます。
- 6 製品本体の運転スイッチを押す。
※バスケットキャップが確実に閉まっていることを確認してから運転スイッチを押してください。
- 7 浴水が循環し始めたら必ず、吸込みユニットにフィルターセットを取り付ける。

お知らせ

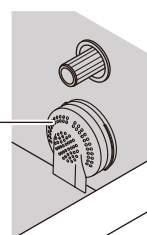
- 運転スイッチを押して約2分後、循環できずにエラー「E3」が点滅表示して循環ポンプが停止したら、運転スイッチを押してエラーを解除してください。解除後、再度運転スイッチを押して循環させてください。エラー「E3」点滅は本体内に浴水が循環していないという表示です。



- 運転開始時、循環ポンプの動作音が大きい場合がありますが異常ではありません。これは本体内部に浴水が満たされていないために起こる現象です。循環が開始されると音は小さくなります。



循環し始めたら
吸込みユニット
にフィルターセ
ットを必ず取り
付ける



5. 使用方法

運転 入 / 切（運転スイッチ）

- 運転スイッチを軽く 1 回押すと運転を開始します。運転を停止したいときは少し長く押したままにすると停止します。
- 運転中は運転ランプが点灯します。

※運転開始時、本体内部からカチカチと電子部品の作動音がします。（故障や異常ではありません）

※漏電ブレーカーや漏電保護プラグを「切」にして本体の通電を遮断させるときは必ず、事前に本体の運転を停止させてから行ってください。

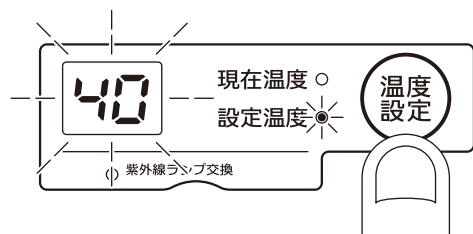
※運転が停止しているときに運転スイッチを 5 秒以上押したままにすると強制運転モードとなり、循環ポンプが 10 秒間だけ作動します。強制運転モードは浴水温度が低下して運転が待機状態になったときなどに使用する機能です。（p.41）

エラー表示の解除（運転スイッチ）

- 運転中にエラーが表示されると運転は自動停止します。
運転を再開するときは原因を解決してから運転スイッチで切、入操作（エラー解除）を行ってください。

好みの浴水温度に設定する（温度設定スイッチ）

- 1 温度設定スイッチを押すと設定温度ランプが点灯（現在温度ランプは消灯）し、温度表示部に現在設定されている温度が点滅表示されます。



- 2 温度設定スイッチを 1 回押すたびに数値が 1℃上昇します。

※31℃・37～45℃までの間でお好みの温度を設定できます。

※「OF」表示のときはヒーター「切」となり、加熱・保温はせずに運転します。

※31℃設定は本機とは別に追いだき機能があるご家庭でご使用になれます。
（毎回入浴前に追いだきでの加温が必要となります。）



- 3 温度設定を変更して約 5 秒以上放置すると設定が更新され、温度表示部は現在温度に戻ります。

お知らせ

- 現在温度表示は、本体内を循環している浴水温度を表示しています。給水した場合、一時的に表示温度が下がる場合があります。
- 設置工事のホース長さや設置条件、浴室温度、循環ポンプの発熱などの影響により、表示温度と浴水温度に差が生じる場合があります。
- 本機は循環ポンプの発熱を浴水保温の一部として利用している省エネ設計となっていますので、夏期や浴室内の気温が高いときは、設定温度より浴水温度が高くなる場合があります。この場合、水道水を浴水に給水して適度な温度に下げてください。

5. 使用方法

静音運転（静音／高速スイッチ）

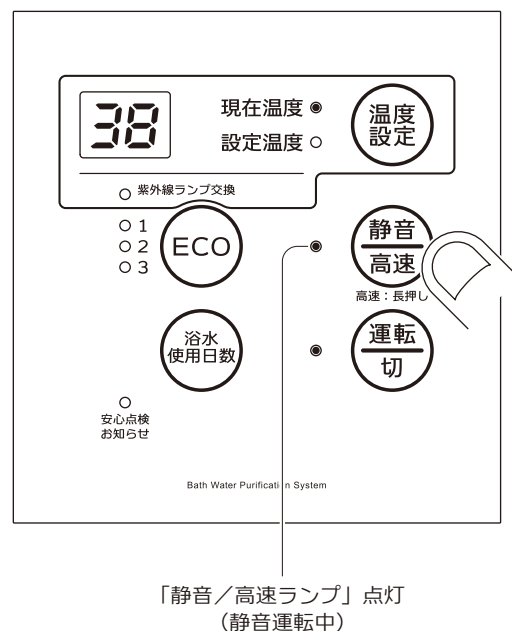
- 運転中に「静音／高速スイッチ」を押すと約8時間静音運転します。
- 静音運転中は「静音／高速ランプ」が点灯します。
- 静音運転を終了すると自動的に通常運転に戻ります。
- 静音運転を途中で中止したいときは、「静音／高速スイッチ」を押すと通常の運転に戻ります。（「静音／高速ランプ」が消灯します。）
- 静音運転時間は次の手順で変更できます。

静音運転時間の変更方法

- 1** 運転を停止する。
- 2** 「静音／高速スイッチ」を長押しする。
（温度表示部に現在設定されている静音運転時間が点滅表示されます。）
- 3** 温度設定スイッチを押して静音運転時間を変更する。
（静音運転時間は 00 ～ 24 時間まで選べます。00 を選択すると運転中に静音／高速スイッチを押しても静音運転は作動しません。）
- 4** 設定変更を確定するときは**3**の後、「静音／高速スイッチ」を押して確定させる。
（**3**の後、5秒以上放置していても確定したことになります。）

⚠ 注意

静音運転を長く設定したまま長期間運転していると、配管内にスケール汚れが付着しやすくなり、配管洗浄のお手入れ時期が早くなる場合があります。



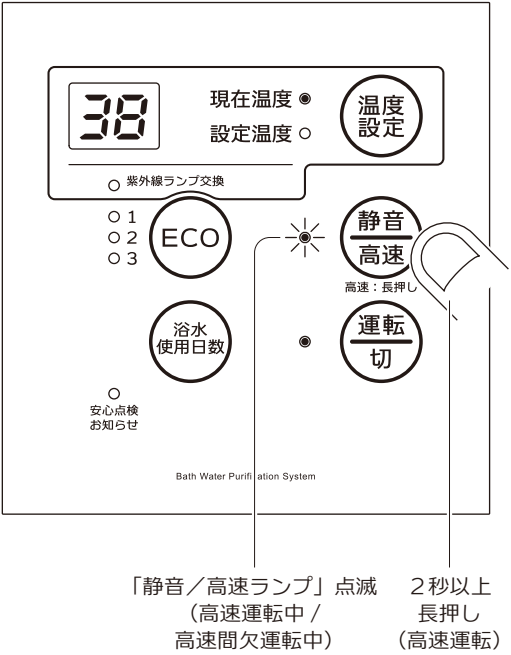
5. 使用方法

高速運転（静音／高速スイッチ）

- 運転中に「静音／高速スイッチ」を2秒以上長押しすると約8分間、高速運転します。
- 高速運転中は「静音／高速ランプ」が点滅します。
- 高速運転を途中で中止したいときは、「静音／高速スイッチ」を押してください。高速運転を開始する前の運転状態（通常または静音）に戻ります。
- 高速運転中は加温を行いません。

間欠運転

- 高速運転中に温度設定スイッチを押すと泡出しユニットのジェットノズルから出てくる吐水量を自動調節し、間欠運転を行います。
- 温度設定スイッチを押すたびに現在の温度表示部が「温度表示」→「01」→「02」→「03」と一巡して切り替わり、各表示内容のときは次の運転状態で間欠運転を繰り返します。
- 間欠運転中は吐水量の速度に応じ、温度表示部の左側が時計回りに点滅します。



温度表示部	運転状態
38 温度表示 (例：浴水温度 38℃の場合)	高速運転のみ
01 間欠運転 パターン ①	→ 高速 → 通常 → 01 早く点滅回転 01 ゆっくり点滅回転

※ 次回高速運転を行うときは、前回使用した間欠運転のパターンから開始します。

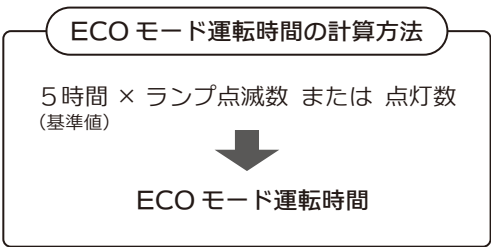
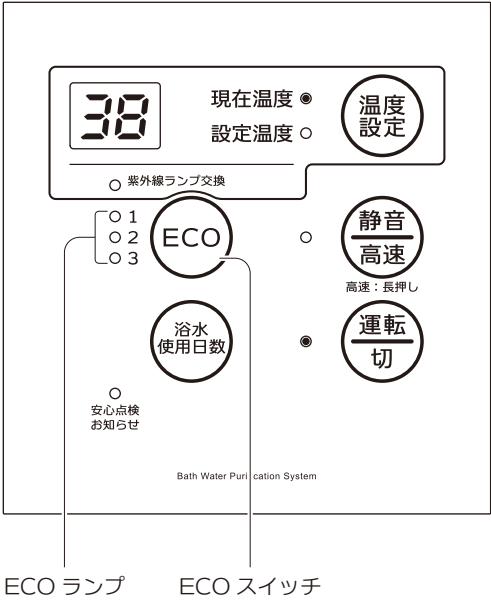
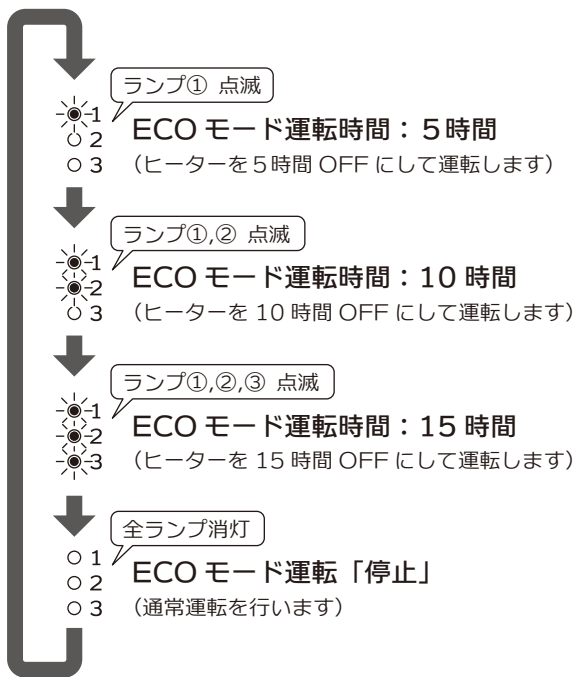
5. 使用方法

ECO モード運転（ECO スイッチ）

●ECO モード運転中は設定時間の間だけヒーターを OFF にし、浴水の保温・加温は行わずに循環運転のみ行います。

運転開始方法

- 1 運転中に ECO スイッチを押してください。押すたびに ECO ランプの点滅状態が切り替わり、ECO モードの運転時間を選択できます。
- ★ECO ランプ各 1 個が 5 時間（基準値）を表しています。



- 2 運転時間が選択できたら約 3 秒以上放置してください。ECO ランプが点滅から点灯に切り替わり、ECO モード運転を開始します。
- ★ECO モード運転を解除したいときは、運転中に ECO スイッチを押して 3 個の ECO ランプを全消灯に切り替えてください。
- 3 ECO モード運転時間が終了すると通常運転に戻り、浴水を設定温度に加温または保温し始めます。
- ★ECO モード使用中及び入浴されていない時間帯は必ず浴槽に蓋をしてください。(p.46)

ECO モード運転時間の基準値を変更する方法

- ECO モード運転時間の基準値（ランプ 1 個が示す運転時間）を変更することができます。
- ECO モード運転中は変更できません。変更する場合は一度 ECO モード運転を解除してから行ってください。
- 1 運転中に ECO スイッチを 3 秒以上長押しする。
(現在の基準値が温度表示部に表示されます。)
- 2 温度設定スイッチを押して基準値を変更してください。
値は 4・5 (初期値)・6・7・8・12・24 時間の中から選べます。
- 3 変更したら静音／高速スイッチを押して決定します。
(静音／高速スイッチを押す前に運転スイッチを押すと、変更はキャンセルされます。)

ECO ランプ 点灯状態 基準値 ランプ 1 個の時間	● 1 ○ 2 ○ 3		
	● 1 ○ 2 ○ 3	● 1 ● 2 ○ 3	● 1 ● 2 ● 3
4	4	4	12
5 (初期値)	5	10	15
6	6	12	18
7	7	14	21
8	8	16	24
12	12	24	36
24	24	48	72

各基準値の ECO モード運転時間
(単位：時間)

5. 使用方法

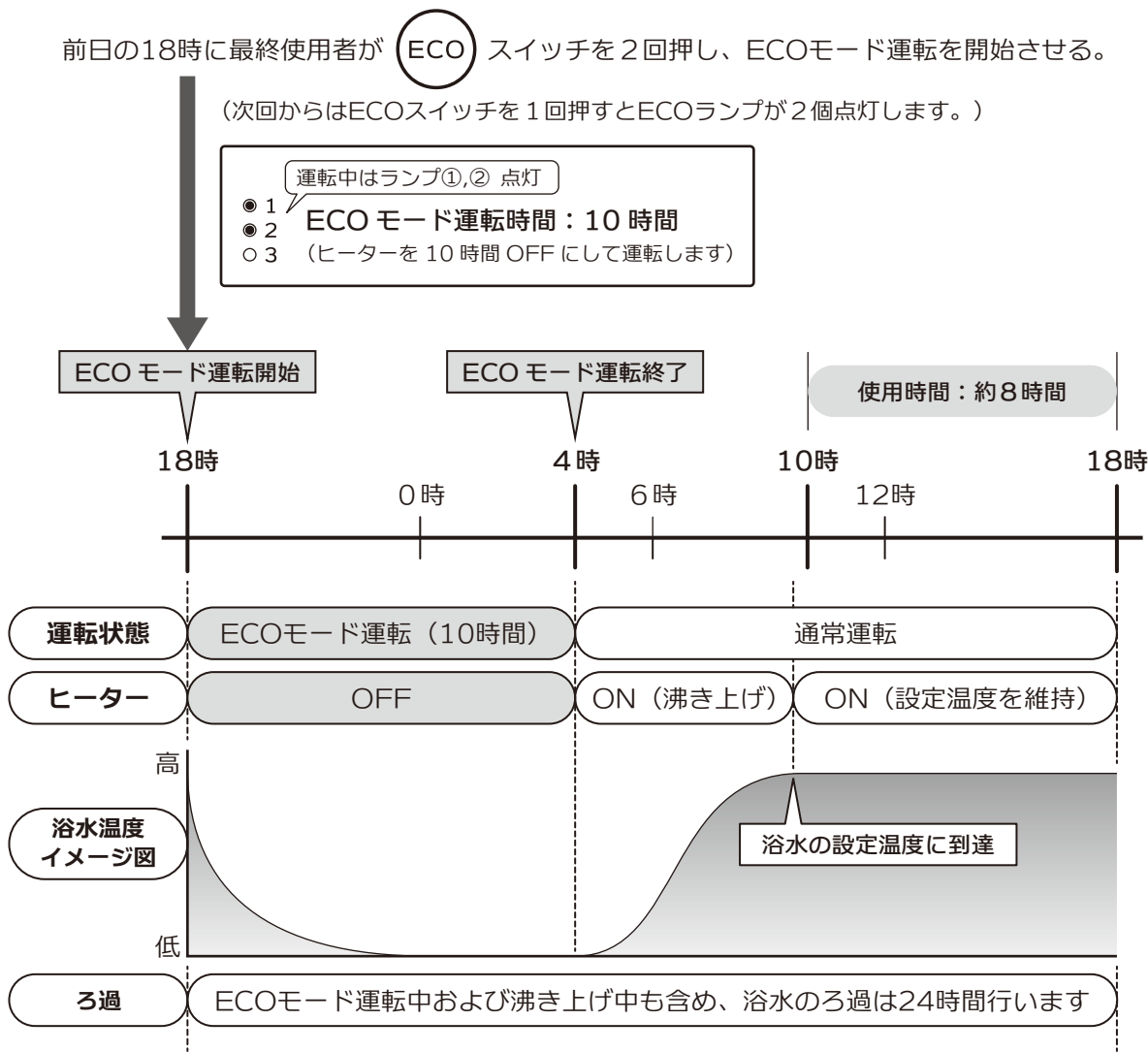
ECO モード運転動作イメージ図

<事例>

使用時間：約8時間（10時から18時まで）

外気温：約20℃

ECOモード設定運転：10時間



5. 使用方法

ECO モード運転時間の選択方法

- 1
- 目安表の「①使用時間」から使用時間を選ぶ。
- 2
- 目安表の「②外気温」から、使用時間外のおおよその外気温を選ぶ。
- 3
- 12に該当する ECO モード運転時間の設定を、最終使用者が ECO スイッチを押してお風呂からあがる。

ECO モード運転時間の目安表（浴水量：200ℓ・設定温度 41℃の場合）

①使用時間 ②外気温	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20
10℃	10	8	7	6	4	×				
20℃	15or16	14	12	12	10	8	6or7	5	4	
30℃	21	18	16	15	12	10	8	7	6	4or5

×

は、お湯が沸き上がらないので使用不可

単位：時間

例）使用時間：10時～18時まで、外気温度：20℃の場合

・使用時間の合計は8時間になります。（①）

・昼間等、使用していない時間帯のおおよその外気温で選びます。（②）

・イメージ図（p.20）の場合、目安表では10もしくは12時間になりますので、ランプ1・2を点灯させてください。（ランプ1個の時間が5時間の場合）

- 使用時間外（p.20 のイメージ図では 18 時～ 10 時の間）に使用する場合は、湯温が設定温度より下がっています。
（浴水のろ過は常時行っているので足し湯などで適温にすれば使用できます。）
- 浴水量、気温、設定温度などの条件により、使用時間になっても浴槽のお湯が沸き上がっていない場合があります。
（沸き上がっていない場合は、次回より ECO モードの設定時間を目安表より少なく設定してご使用になるか、足し湯などで適温にして使用してください。）
- 浴水量、気温、設定温度などの条件によっては、電気代が連続保温時とほとんど変わらない場合があります。
- ECO モード設定は ECO モード使用日毎の操作となります。連続して使用される場合は最終使用者がその都度 ECO スイッチを押してください。

5. 使用方法

浴水使用日数の確認方法（浴水使用日数スイッチ）

- 浴水使用日数スイッチを押すと、浴水の使用日数を確認することができます。
- 最大 299 日まで表示します。
- 浴水を交換したら必ず、浴水使用日数を下記手順でクリアしてください。
- 浴水の使用期間、ろ過材の洗浄期間、配管の洗浄期間等の目安として、お客様のお好みの用途でご使用ください。

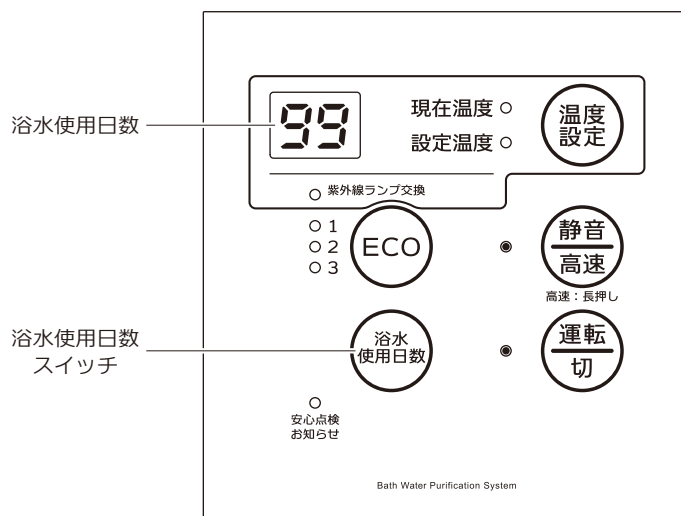
浴水使用日数の読み取り例

99 → 99 日目
99

99. → 199 日目
99.

9.9. → 299 日目
9.9.

12. → 112 日目
12.



浴水使用日数のクリア方法

- 1 浴水使用日数スイッチを押す。
- 2 使用日数の表示中（5 秒間）に再度、浴水使用日数スイッチを 2 秒以上長押しする。
- 3 表示部が「00」点滅表示になるとクリア完了です。

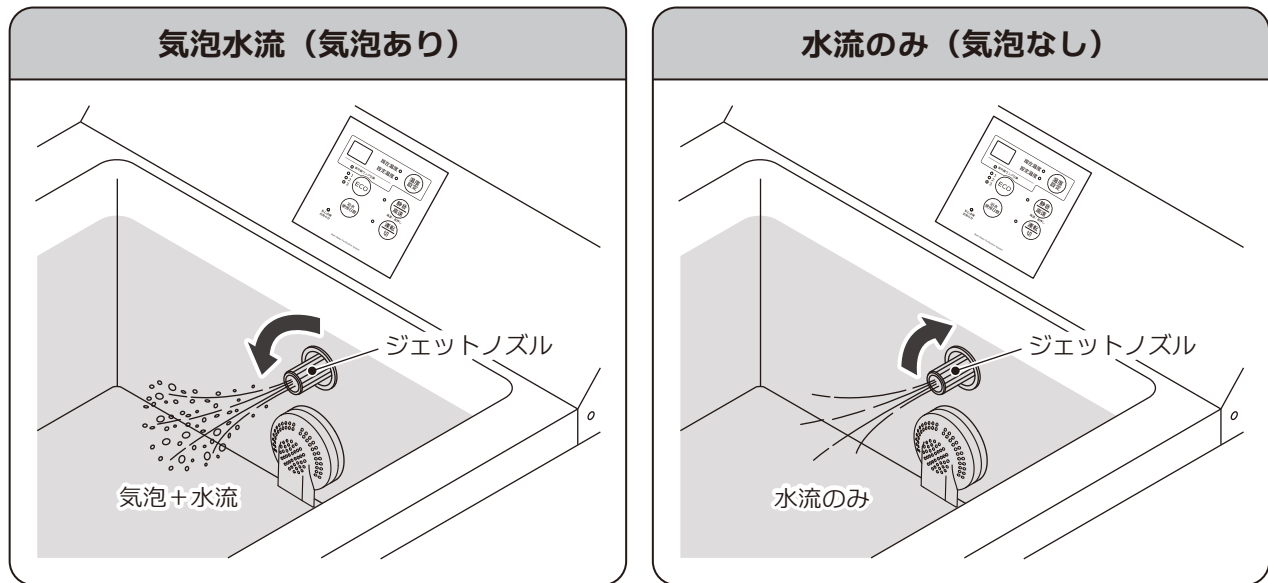
お願い

浴水と本体を清潔に保つため、浴水の交換は 1 週間に 1 回以上行ってください。
(p.24「点検とお手入れ」参照)

5. 使用方法

気泡浴運転（泡出しユニット）

●泡出しユニットのノズル部分（白色）をまわすと「気泡水流（気泡あり）」「水流のみ（気泡なし）」の運転を選択できます。



⚠ 注意

- 初回設置時など、浴水の浄化が安定しないときは「気泡水流（気泡あり）」のまま数日間、運転してください。
- ノズルの回転が硬い場合があります。

6. 点検とお手入れ

安全に長くご使用いただくために、日常の点検、お手入を必ず行ってください。

日常の点検

- お手入れのときには運転を停止してください。
- お手入れの必要なところ以外は絶対に分解しないでください。
- お手入れの際は指先などを傷つけないよう十分注意してください。
- 機器の配管、継ぎ手などから水漏れがないか点検してください。
(水漏れは機器の故障だけでなく階下のお客様にも多大な迷惑をかけることがあります。)
- 機器外装の掃除
(本体が汚れている場合は、布やスポンジで水拭きしてください。)
(ベンジン等で拭くと変色することがあります。)
- 浴槽を掃除するときは、機器に直接水をかけないでください。
(表示部が曇るなど、故障の原因になります。)

日常のお手入れ

- 浴槽のお湯をきれいに保つために下記のものは必ず定期的にお手入れしてください。
- 浴槽のヌメリ除去はスポンジ等で軽くこすってください。
- ろ過材の洗浄と配管の洗浄期間は汚れ具合によって異なります。
- 紫外線ランプの寿命は使用頻度によって異なります。
- トップフィルター、紫外線ランプ、グロー球、ろ過材、ろ過材ネットは消耗品です。
(消耗品をお求めの際は本製品をお買い求めになった販売店にご連絡ください。)

浴水と本体を清潔に保つため次のお手入れを行ってください。

対象	期間
トップフィルターの洗浄	毎日使用後
浴槽内面のヌメリ除去	毎日使用後
浴水の交換	1週間に1回以上
浴槽の洗浄	1週間に1回以上（浴水の交換時に洗浄）
ろ過材の洗浄	1か月に1回以上
配管の洗浄	6か月に1回以上
紫外線ランプの交換	約1年または交換ランプが点灯（点滅）したら

お知らせ

毎日の使用回数や使用人数・浴水の汚れ具合などの影響により、お手入れの頻度や消耗品の交換時期が短くなる場合があります。

6. 点検とお手入れ

トップフィルターの洗浄方法

■必ず毎日洗浄してください。

■トップフィルターは消耗品です。薄くなるなど、傷んできたら必ず新品と交換してください。

※交換用のトップフィルターは本機をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

1 運転を停止させる。

(運転スイッチを少し長く押すと停止します。)

2 浴槽の吸込みユニットからフィルターセットを取り外し、そのまま浴水の外に取り出す。

3 フィルターセットを分解してトップフィルターを取り出す。

4 トップフィルターの表面に付いているゴミを指で取り除き、水道水の流水でやさしくにぎり洗います。

※汚れがひどいときは、体を洗う石けんやボディーソープを使い、やさしくにぎり洗いしてください。ただし洗った後は水道水の流水でよくすすぎ洗いしてください。

5 トップフィルター全体に水をたっぷり含ませたままフィルターセットを組み立てる。

6 吸込みユニットにフィルターセットを取り付ける。

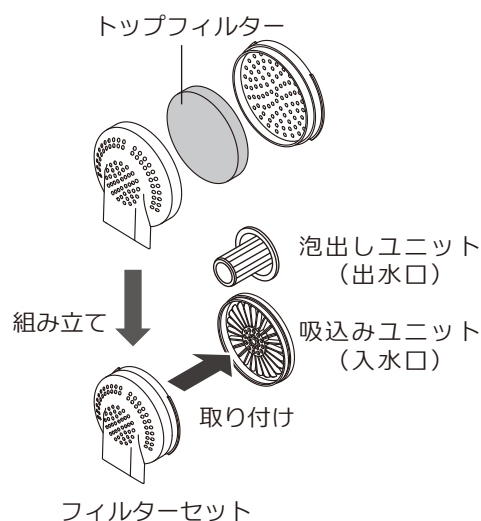
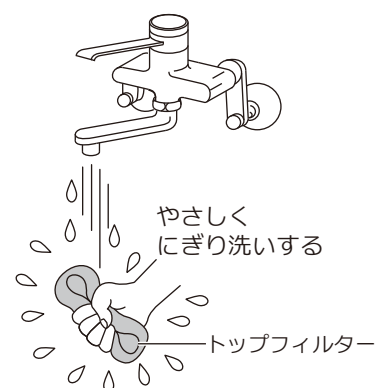
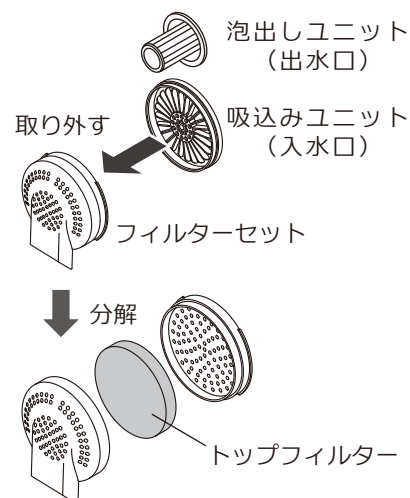
7 運転スイッチを押して運転を再開する。

⚠ 注意

- フィルターセットを吸込みユニットから取り外すときは、必ず運転を停止してから行ってください。
(浴水中に大きなゴミがある場合、運転を停止しないままフィルターセットを取り外すとゴミを吸入し、故障の原因になります。)
- 石けんやボディーソープを使って洗浄した後は、水道水の流水でよくすすぎ洗いしてください。
(石けん成分が残ったまま運転を再開すると、浴水の浄化が不安定になります。)
- 体を洗う石けんやボディーソープ以外の洗浄力が強い洗剤でトップフィルターを洗わないでください。



少し長く押す
(運転停止)



フィルターセットを
取り付けから
運転再開

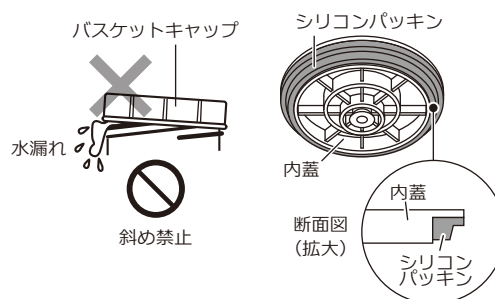
6. 点検とお手入れ

ろ過材の洗浄方法

- 1か月に1回以上洗浄してください。
- ろ過材は消耗品です。摩耗して量が少なくなった場合は補充してください。
- ろ過材ネットが破れているときも交換が必要です。
- ろ過材を洗浄するとき、ろ過材に付着したヌメリなどで周囲が汚れる場合がありますので、汚れても支障のない場所で洗浄してください。

⚠ 注意

- バasketキャップと内蓋は本体と水平になるように閉め、付属品の締付ハンドルで締め込んでください。
- バasketキャップと内蓋を斜めに取り付けたり、確実に閉まっていないまま運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。
- 水漏れ防止のため、内蓋を脱着するときはシリコンパッキンが傷んでいないか、正しい位置（右図）に取付けられているか確認してください。



1 運転を停止させる。(運転スイッチを少し長く押すと停止します)



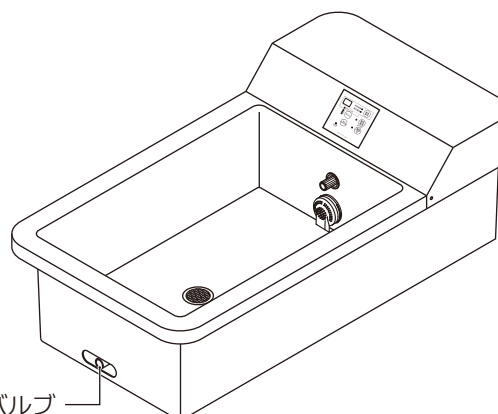
少し長く押す
(運転停止)

2 排水バルブを開けて浴水をすべて排水する。

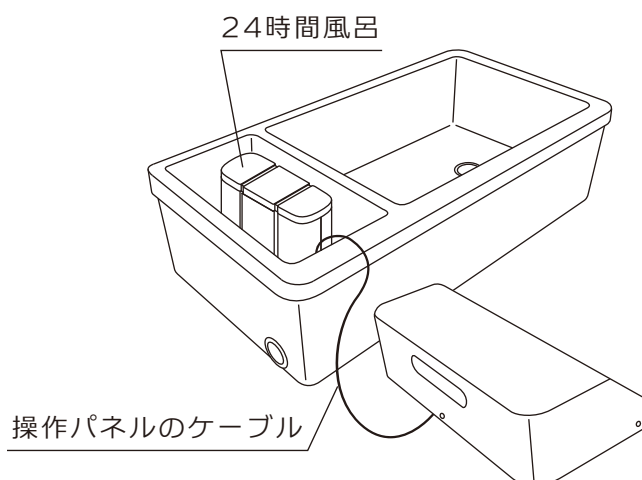
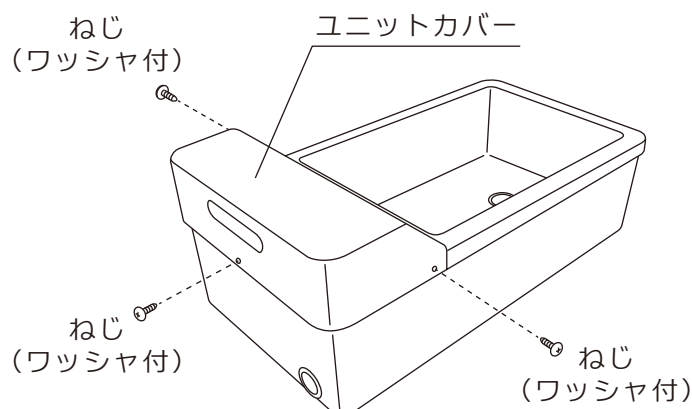
※浴水が残った状態では、洗浄後ろ過材を入れるときにバスケットキャップから循環水があふれますので、必ず浴水を排水してください。

お知らせ

近くに排水場所が無い場合は排水バルブに市販のホースを差し込み、ホース先端を排水場所に導いてください。



3 ユニットカバーの固定ねじ（3個）を外し、ユニットカバー全体を持ち上げて浴槽から取り外す。



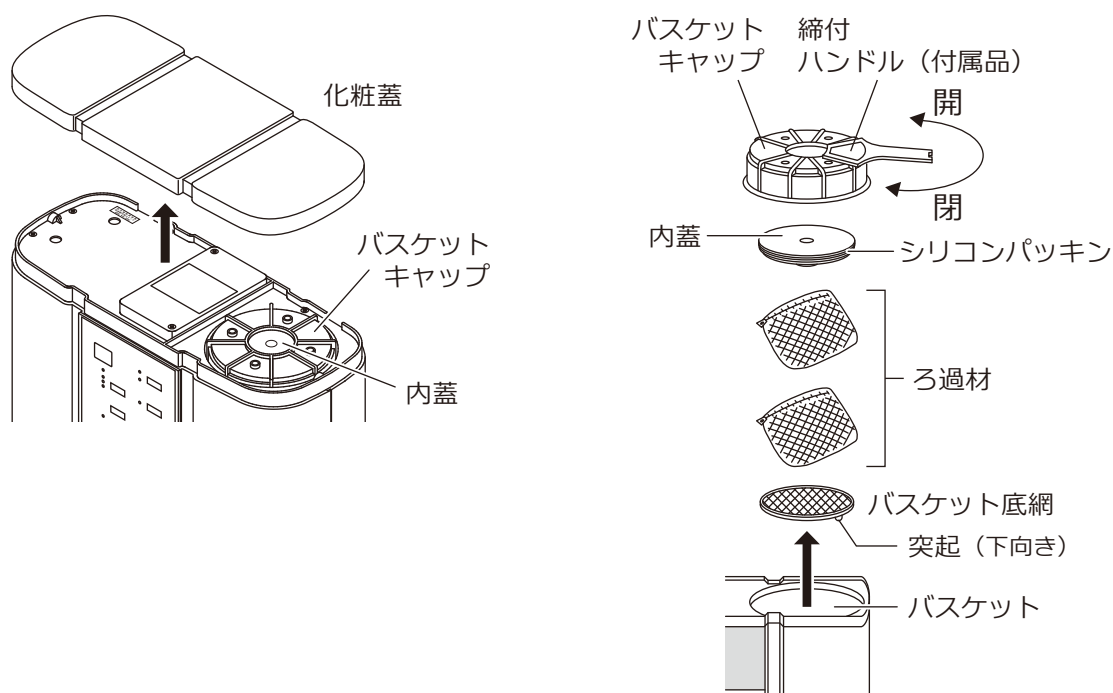
⚠ 注意

操作パネルのケーブルを無理に引っ張らないように注意してください。

6. 点検とお手入れ

4 24 時間風呂本体からろ過材（2 袋）とバスケット底網を取り出す。

- ① 本体の化粧蓋を外し、付属品の締付ハンドルでバスケットキャップを開けて内蓋を外す。
- ② バスケット内部からろ過材（2 袋）とバスケット底網を取り出す。



5 ろ過材とバスケット底網を洗う。

- ① ろ過材を入れたまま、ろ過材ネットごと水道水の流水ですすぎ洗いする。
- ② バスケット底網をやわらかいブラシやスポンジで洗う。

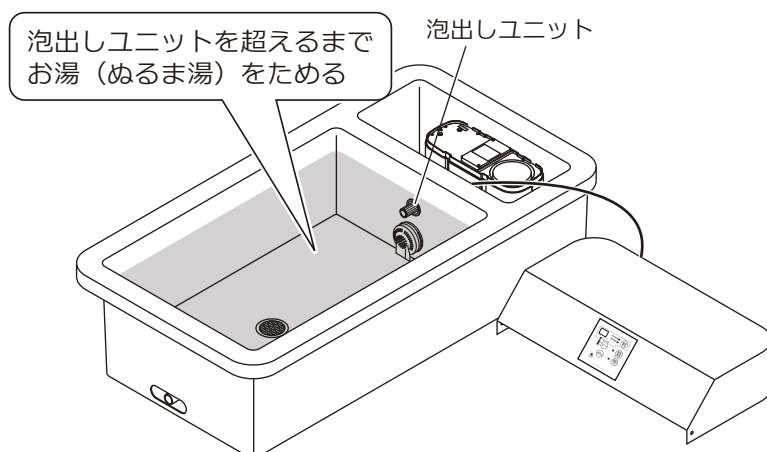


⚠ 注意

ろ過材は石けんや洗剤で洗わないでください。
(浴水の浄化が不安定になります)

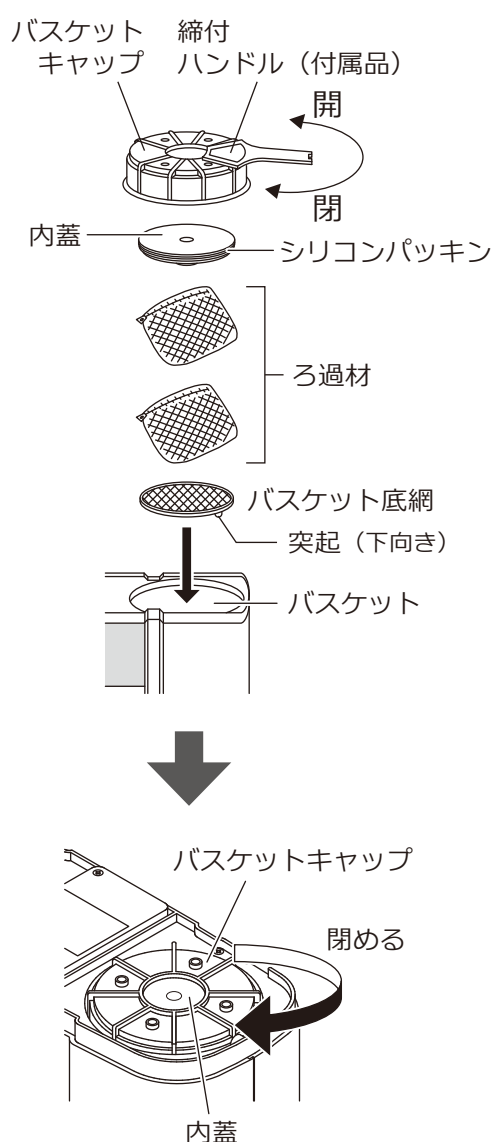
6. 点検とお手入れ

- 6 浴槽の排水バルブが閉まっていることを確認し、泡出しユニットを超えるまでお湯（ぬるま湯）をたまる。



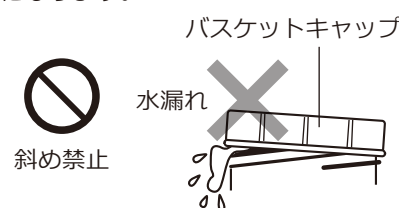
- 7 バスケットにバスケット底網、ろ過材を入れる。

- ① バスケット底網の突起側を下に向けて水平に入れる。
- ② ろ過材（2袋）を入れる。
- ③ 内蓋をかぶせ、バスケットキャップを付属品の締付ハンドルで閉める。

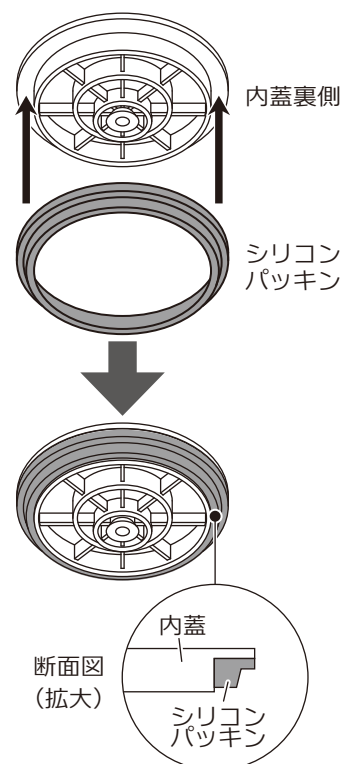


⚠ 注意

- バスケットキャップと内蓋は本体と水平になるように閉め、付属品の締付ハンドルで締め込んでください。
- バスケットキャップと内蓋を斜めに取り付けたり、確実に閉まっていないまま運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。



- 水漏れ防止のため、内蓋を脱着するときはシリコンパッキンが傷んでいないか、正しい位置（下図）に取付けられているか確認してください。



6. 点検とお手入れ

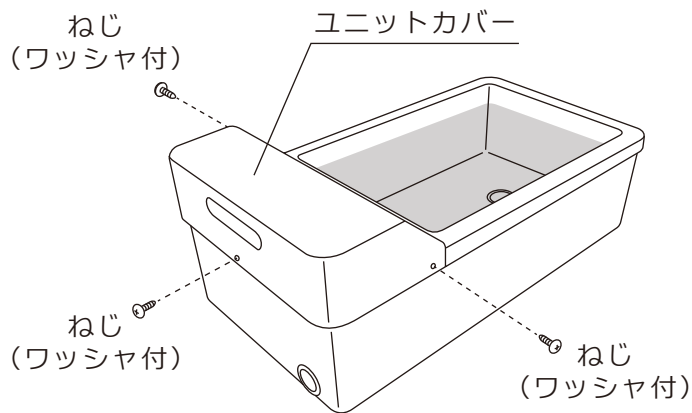
8 運転スイッチを押して運転を再開する。



運転開始

(運転再開時、何度やってもエラー「E3」により運転できないときは、p.15 のむかえ水を行ってください。)

9 正常に運転が開始したらユニットカバーを取り付ける。



⚠ 注意

- 操作パネルのケーブルを無理に引っ張らないように注意してください。
- ユニットカバーは必ずねじ（3個）で固定してください。

6. 点検とお手入れ

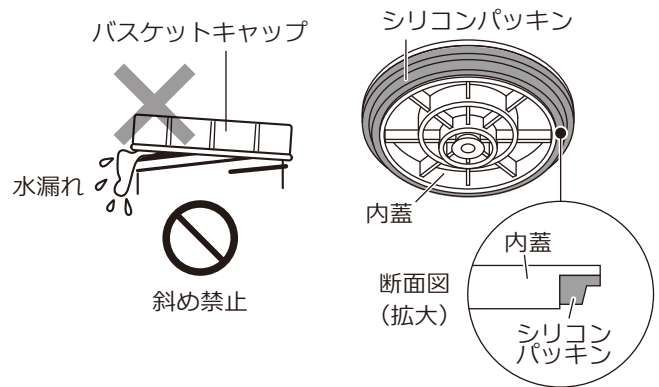
配管の洗浄方法

●汚れ具合によって異なりますが、6か月に1回以上、配管の洗浄を行ってください。

★配管の洗浄剤は別売品の循環温浴システム専用洗剤「ニュークリーン 24」をご使用ください。
お求めは本機をお買いになった販売店までご連絡ください。

⚠ 注意

- バスケットキャップと内蓋は本体と水平になるように閉め、付属品の締付ハンドルで締め込んでください。
- バスケットキャップと内蓋を斜めに取り付けたり、確実に閉まっていないまま運転すると、水漏れして本機の故障の原因になります。
- 水漏れ防止のため、内蓋を脱着するときはシリコンパッキンが傷んでいないか、正しい位置（右図）に取付けられているか確認してください。



お知らせ

- 配管内にカルシウム汚れが多く付着している場合は下記配管洗浄を行った後、市販のクエン酸（食品添加物用）を使用して再度、配管洗浄を行ってください。（循環温浴システム専用洗剤をクエン酸に置き換えて配管洗浄を行う。）
- ★「配管の洗浄」と「ろ過材の洗浄」を同時期に行うと、ろ過材および配管に付着している浄化微生物が著しく減少してしまい、運転再開後、浄化が不安定になり浴水が濁る場合があります。
「配管の洗浄」と「ろ過材の洗浄」は1週間程度、期間をあけて行うことで浄化が安定しやすくなります。

1 運転を停止させる。

（運転スイッチを少し長く押すと停止します。）

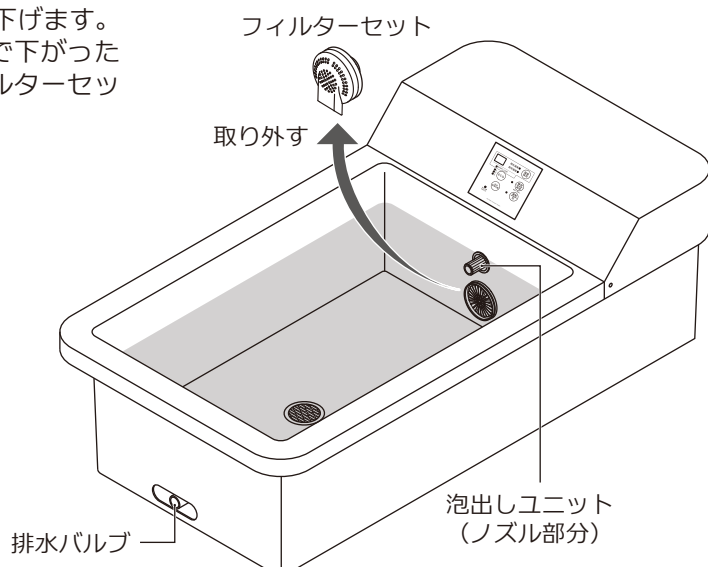


少し長く押す（運転停止）

- 2 排水バルブを開け、浴水を排水させて少し水位を下げます。
水位が泡出しユニットのノズルがつかる程度まで下がったら排水バルブを閉じ、吸込みユニットからフィルターセットを取り外してください。

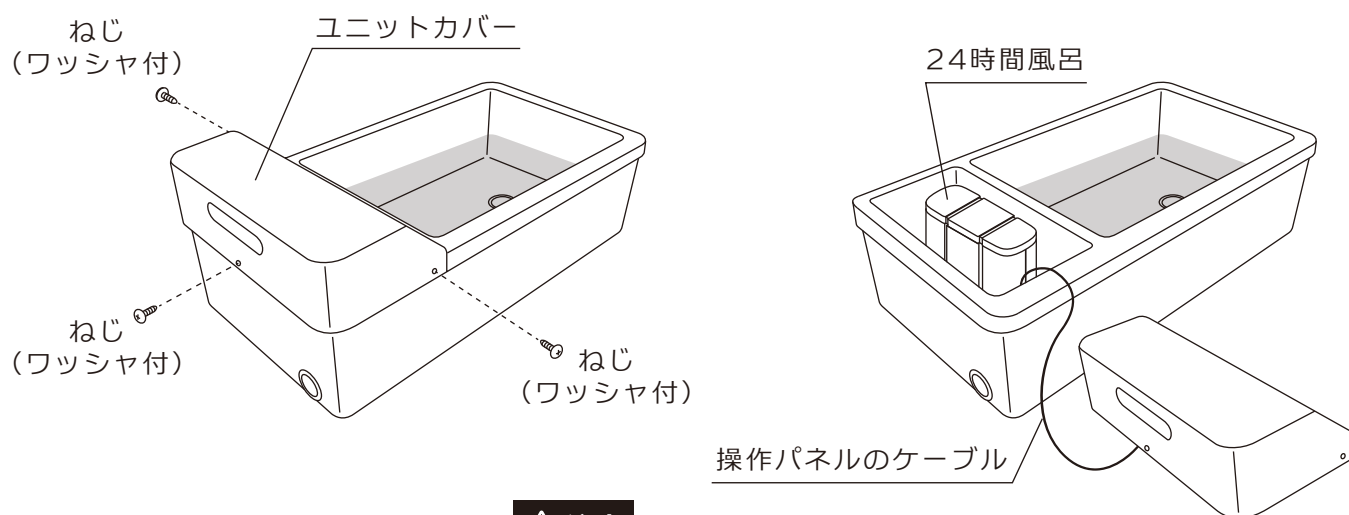
お知らせ

近くに排水場所が無い場合は排水バルブに市販のホースを差し込み、ホース先端を排水場所に導いてください。



6. 点検とお手入れ

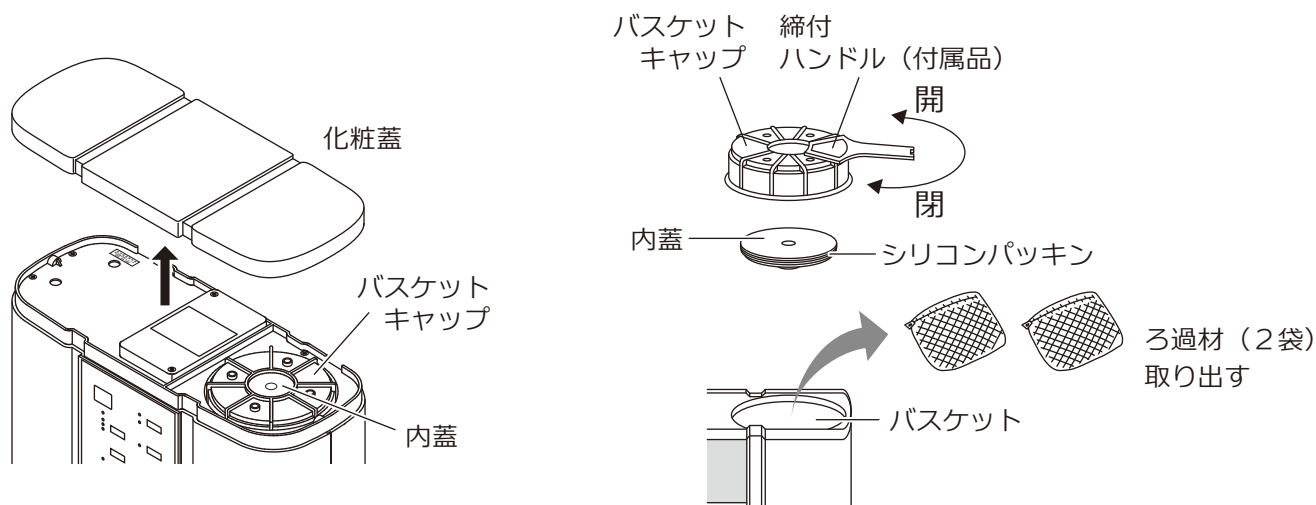
- 3** ユニットカバーの固定ねじ（3個）を外し、ユニットカバー全体を持ち上げて浴槽から取り外す。



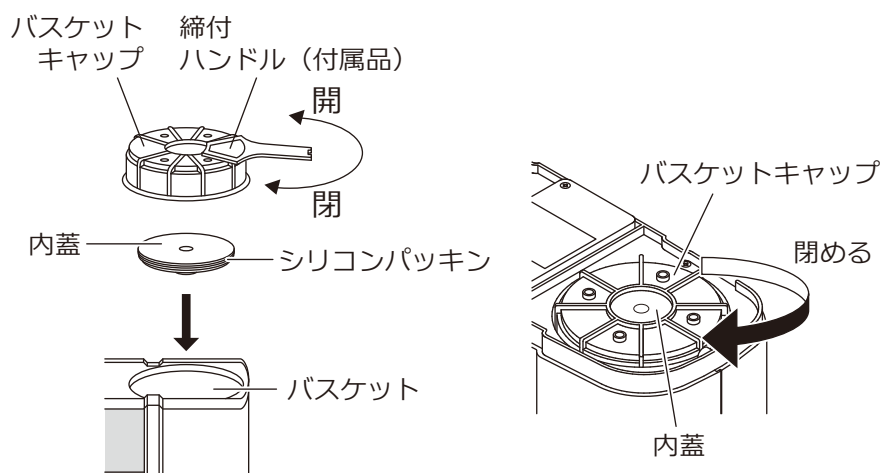
⚠ 注意

操作パネルのケーブルを無理に引っ張らないように注意してください。

- 4** 本体の化粧蓋・バスケットキャップ・内蓋を外してバスケットからろ過材（2袋）を取り出す。

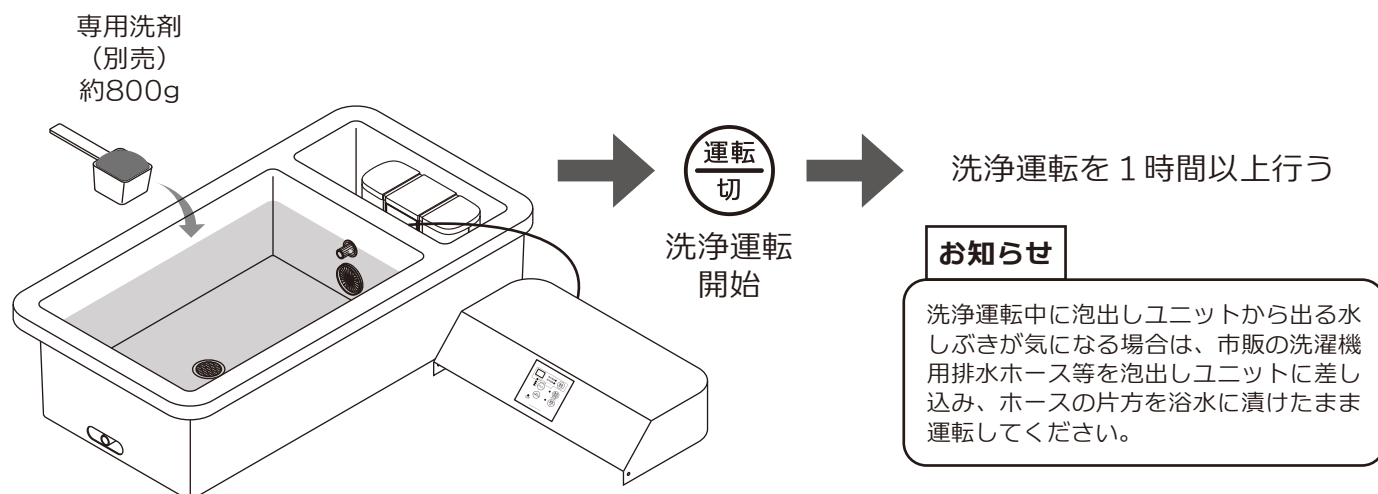


- 5** バスケットに内蓋をしてバスケットキャップを閉める。

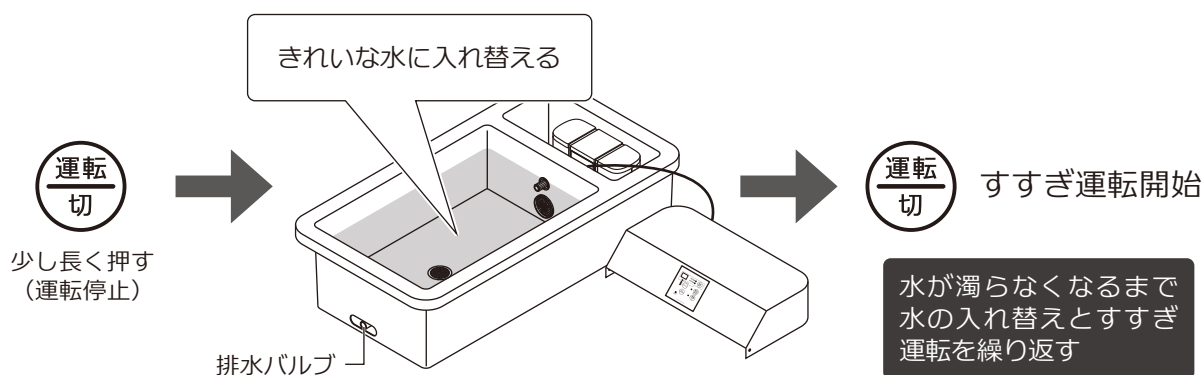


6. 点検とお手入れ

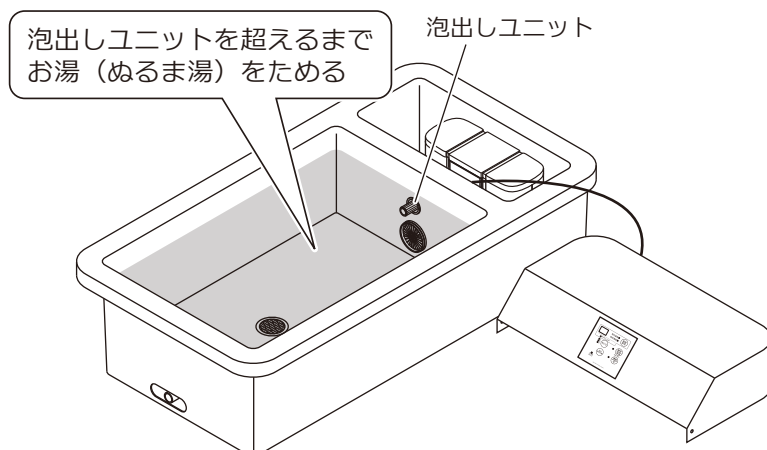
- 6 浴水に別売の専用洗剤 約800gを入れてよく溶かし、運転スイッチを押して洗浄運転を 1 時間以上行う。



- 7 1 時間以上運転したら一度運転を停止し、浴槽の水を排水してください。その後、きれいな水を浴槽に入れて運転を開始（すすぎ運転）し、浴水の水が濁らなくなるまですすぎ運転と浴水の入替えを繰り返し行ってください。

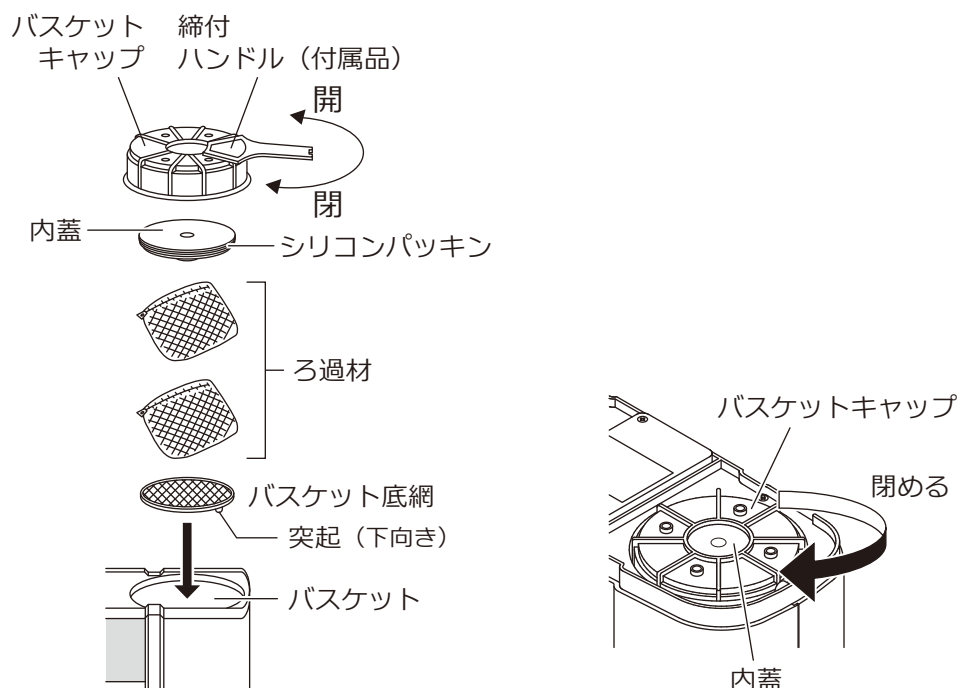


- 8 すすぎ運転が終わったら、泡出しユニットを超えるまで浴槽にお湯（ぬるま湯）をためる。



6. 点検とお手入れ

- 9** バスケットにろ過材（2袋）を入れ、内蓋を置いてバスケットキャップを閉める。
（ろ過材を入れる前に、バスケット内のバスケット底網が斜めになっていないか、突起側が上側になっていないか確認してください。）

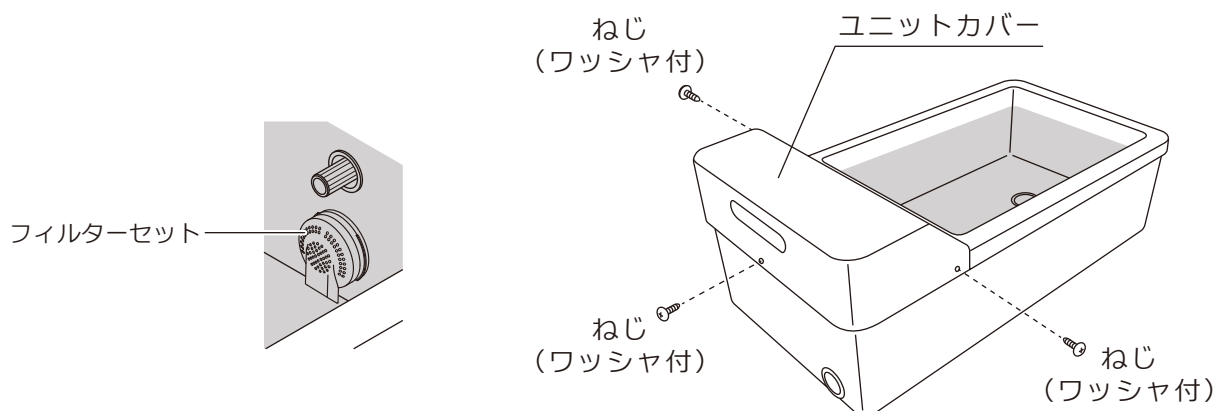


- 10** 運転スイッチを押して運転を再開する。



運転開始時、何度やってもエラー「E3」により運転できないときは、p.15のむかえ水を行ってください。

- 11** 正常に運転が開始したら、必ず浴槽にフィルターセットとユニットカバーを取り付ける。



⚠ 注意

- 操作パネルのケーブルを無理に引っ張らないように注意してください。
- ユニットカバーは必ずねじ（3個）で固定してください。

6. 点検とお手入れ

紫外線ランプとグロー球の交換方法

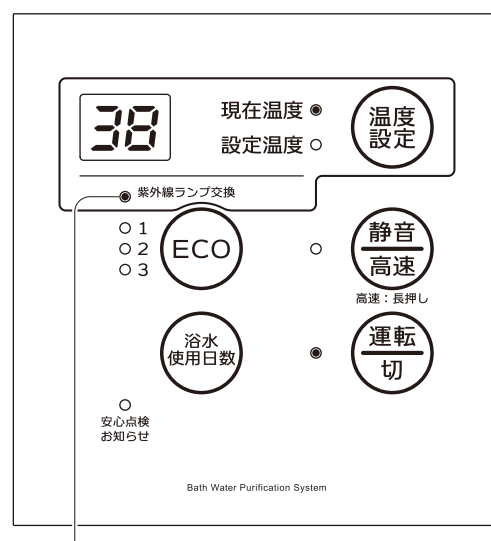
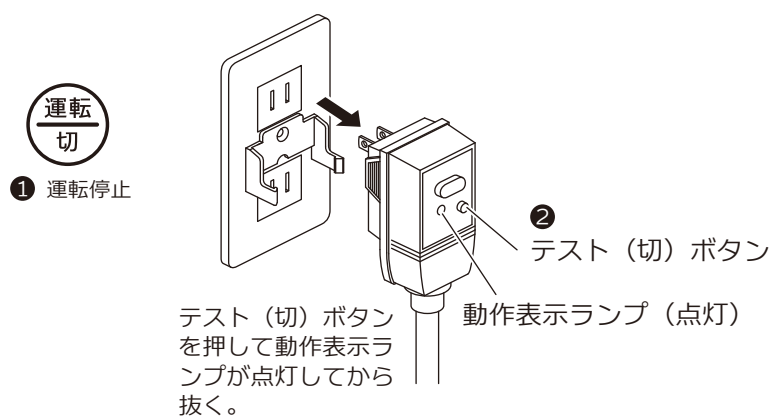
- 浴水と浴槽ユニットを清潔に保つため、紫外線ランプは1年使用後または、操作部パネルの紫外線交換ランプが点灯（点滅）したら交換してください。（同時にグロー球も交換してください。）
- 紫外線交換ランプ点灯時は約30秒に1回、温度表示部が  になります。
- 紫外線交換ランプ点滅時は約30秒に1回、温度表示部が  になります。
- コネクターを外すとき、リード線は引っ張らずにコネクターだけを持って外してください。

★交換用の紫外線ランプとグロー球のお求めは、本機をお買いになった販売店までご連絡ください。

⚠ 注意

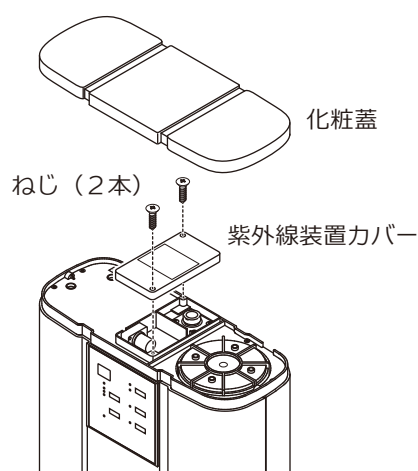
- コネクターを外すときは手をケガをしないように注意してください。
- 紫外線ランプはガラス製です。割ってケガをしないように注意してください。
- 点灯中の紫外線ランプの光を直接見ないでください。目を痛める恐れがあります。

- 1** 運転を停止させ、漏電保護プラグのテスト（切）ボタンを押して動作表示ランプが点灯したらコンセントから漏電保護プラグを抜く。



紫外線交換ランプ

- 2** 浴槽のユニットカバーを外し、24時間風呂本体の化粧蓋と紫外線装置カバーを外す。
（プラスドライバーでねじ2本を外してから紫外線装置カバーを外してください。）

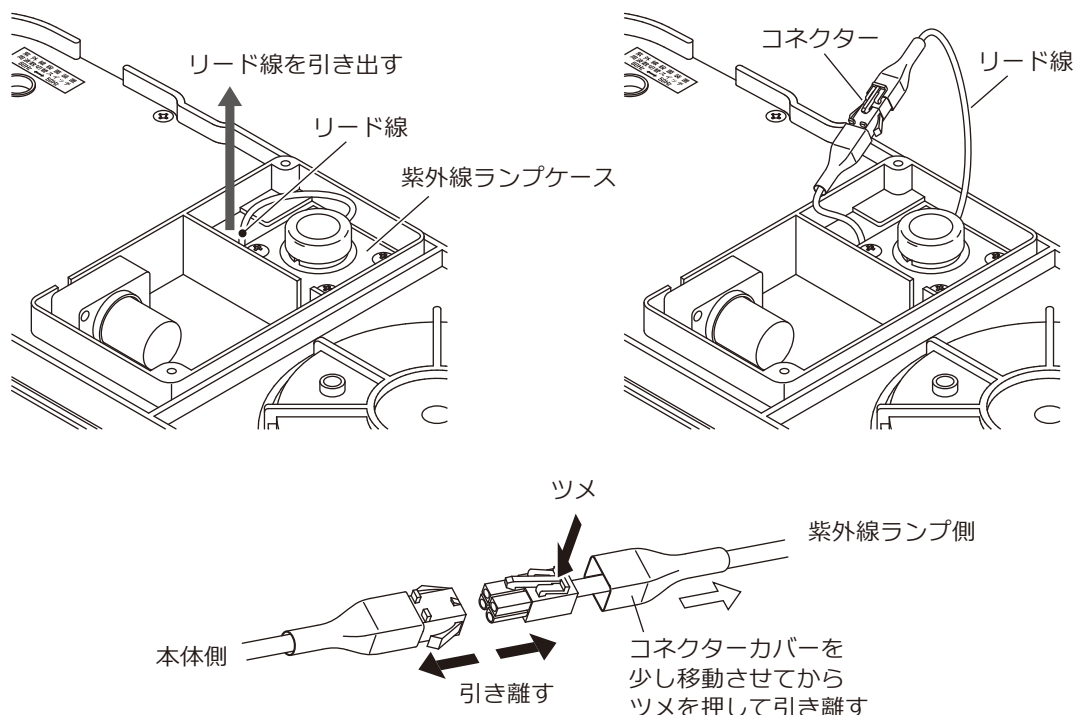


6. 点検とお手入れ

- 3** 本体の隙間からリード線を引き出してコネクターを取り出し、コネクターを外す。

※隙間からコネクターを取り出すとき、窮屈な場合がありますが無理にリード線を引っ張らないでください。

※コネクターを外すときはコネクターのツメを押したまま引き離してください。



- 4** 紫外線ランプ取出口のゴムキャップを外し、古い紫外線ランプを取り出して新しい物と交換する。

お願い

紫外線ランプは微量の水銀を使用しています。

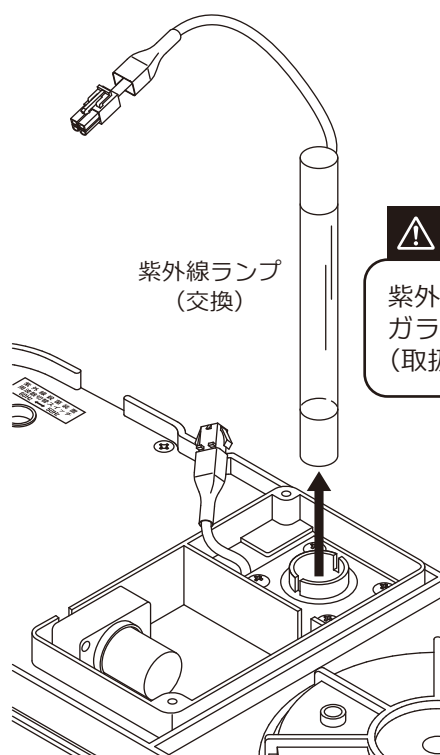
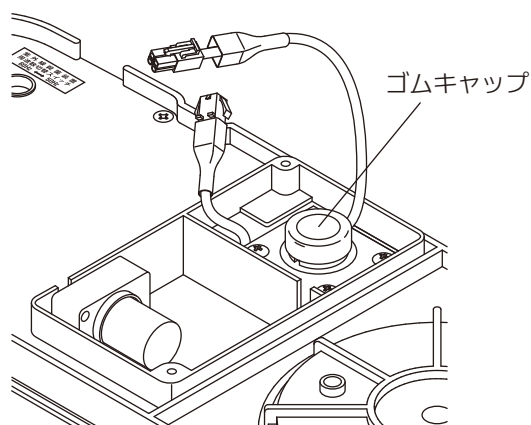
交換した紫外線ランプはガラス部分の破損に注意し、自治体の回収ルール（蛍光灯と同じ扱い）に従い正しく分別・廃棄してください。



必ず守る

注意

紫外線ランプは一部ガラス製です。
(取扱注意)

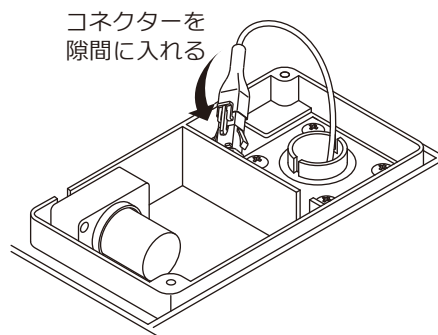
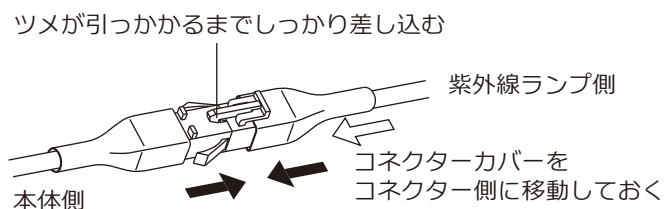


6. 点検とお手入れ

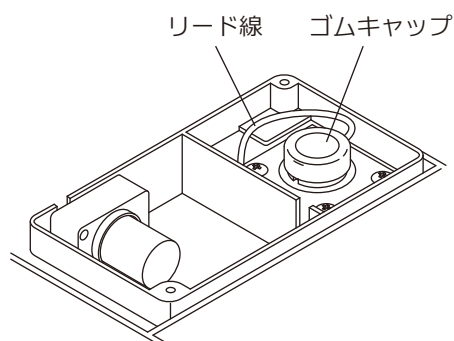
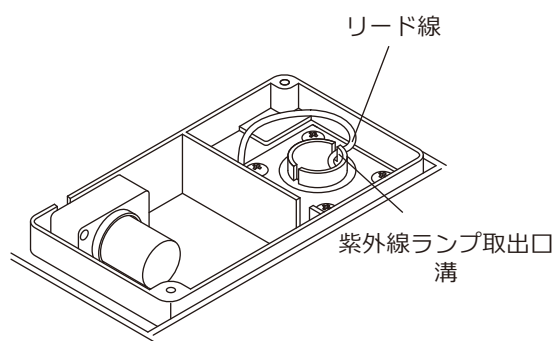
5 新しい紫外線ランプのコネクターと本体側のコネクターを接続し、コネクターを本体の隙間に入れる。

※コネクターを接続した後はコネクターカバーをコネクター側に移動させてください。

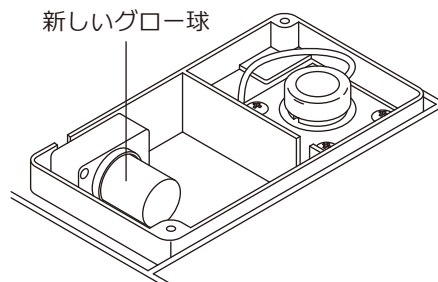
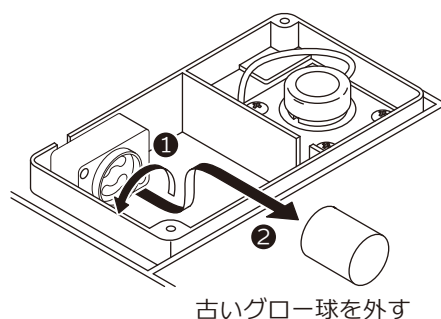
※コネクターを隙間に入れるとき、窮屈な場合がありますがゆっくり入れてください。



6 紫外線ランプ取出口の溝にリード線をはめ込んでから、紫外線ランプ取出口にゴムキャップをかぶせる。

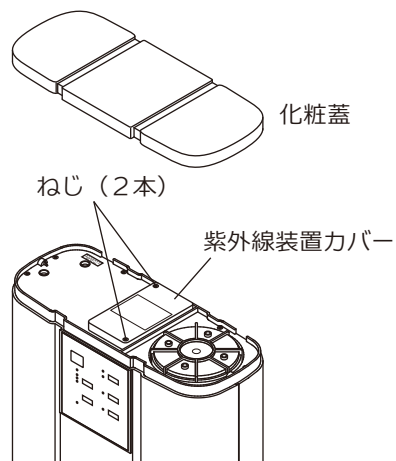


7 古いグロー球を左に回して取り外し、新しいグロー球を逆の手順で取り付け。

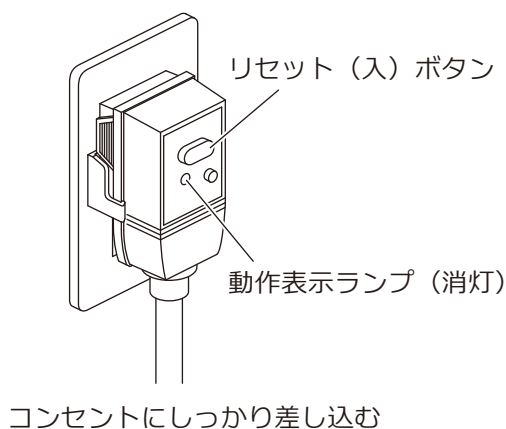


6. 点検とお手入れ

- 8 ねじ 2 本で紫外線装置カバーを固定してから 24 時間風呂本体に化粧蓋をかぶせ、浴槽にユニットカバーを取り付ける。
(ねじはプラスドライバーを使用してください。)



- 9 漏電保護プラグをコンセントに差し込んでリセット（入）ボタンを押し、動作表示ランプが消灯するのを確認する。
(まだ運転スイッチは押さないでください。)



- 10 「紫外線交換ランプ」をクリアする。(運転は停止したままの状態で行います。)

- ① 温度設定スイッチを長押しする。(表示部が「50」で点滅表示する。)
- ② 静音／高速スイッチを押す。(表示部が「00」になったらクリア完了。)



- 11 運転スイッチを押して運転を再開する。
(運転再開後、紫外線交換ランプが点灯または点滅しないことを確認してください。)



6. 点検とお手入れ

長期間使用しないときは

- 本体の運転を停止し、漏電保護プラグのテスト（切）ボタンを押して動作表示ランプが点灯してから、漏電保護プラグをコンセントから抜いてください。
- 保管するときは、配管・ろ過材・トップフィルター・浴槽を洗浄してから 24 時間風呂本体内の水をできるだけ抜き、よく乾燥させてから保管してください。
- 保管後、再び使用するときは設置工事と安全点検を販売店に依頼し、取扱説明書「準備」に従って運転を開始してください。

7. 異常とその処置

エラー表示

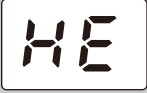
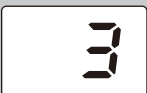
- 操作パネルの温度表示部に下記のようなエラーが表示したときは、各々の処置を行ってください。
- 運転中にエラーが表示されると運転は自動停止します。
※運転を再開するときは原因を解決してから運転スイッチで切、入操作（エラー解除）を行ってください。
- 処置を行ってもエラーが再発する場合や、修理に関するご相談はお買い上げになった販売店に連絡してください。
- お客様自身で分解修理は絶対しないでください。

エラー表示内容	原因と処置方法
 	●水温センサーの故障。 →販売店にご連絡ください。
	●制御基板の故障。 →販売店に連絡する。
	●トップフィルターの目詰まり。 →トップフィルターを洗浄する。 ●配管内が汚れている。 →配管の洗浄を行う。 ●配管内に異物が入った。 →異物を取り除く。 ●水流センサーの故障。 →販売店に連絡する。 ●循環ポンプの故障。（循環ポンプの作動音がしない、または異音がする。） →販売店に連絡する。 ●配管内に大量の空気が入った。 →運転を停止してむかえ水を行ってから運転を再開する。 ●24 時間風呂本体にバスケット底網を入れ忘れている。 →底網の突起部分を下側に向けてバスケットに入れる。

7. 異常とその処置

エラー表示内容	原因と処置方法
	●トップフィルターの目詰まり。 →トップフィルターの洗浄。 ●配管内の汚れ。 →配管の洗浄を行う。 (専用洗剤で配管を洗浄した後、クエン酸を使った配管の洗浄を行ってください。) ●ヒーターの汚れ(空だき)。 →配管の洗浄を行う。 (専用洗剤で配管を洗浄した後、クエン酸を使った配管の洗浄を行ってください。) ●空だきセンサーの故障。 →販売店に連絡する。
	●ヒーター制御回路の故障、または制御基盤の故障。 →販売店に連絡する。
	●内部配線の接続不良。 →販売店に連絡する。 (電源投入時等、一時的に「00」表示する場合がありますが、異常ではありません。)
 「47」℃以上の数値が点滅表示	●足し湯等による水温の上昇。 →水温を下げる。
 運転開始時 コロンが点滅表示	●水流センサーが正常に作動していない。 →配管の洗浄を行う。
 表示なし	●運転を停止させている。 →運転スイッチを押す。 ●コンセントに漏電保護プラグを差し込んでいない。 →コンセントに漏電保護プラグをしっかり差し込む。 ●漏電保護プラグの動作表示ランプが点灯している。 →漏電保護プラグのリセットボタンを押す。 (リセットボタンを押しても再度、動作表示ランプが点灯する場合は本体が漏電している恐れがあります。漏電保護プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。) ●コンセントが通電(100V)していない。 →宅内のブレーカーが落ちていないか分電盤を確認する。

7. 異常とその処置

エラー表示内容	原因と処置方法
	●能力不足表示（浴水量過多、気温低下等の影響で保温できないときに表示）。 →浴槽に内蓋等をしてください。
	●安心点検お知らせランプが点滅して約1年が経過しています。 →「8E」を表示した場合でも本機は継続してご使用になれますが、お客様の安心安全のため販売店に点検を依頼してください。
	●ヒーター回路の断線（ヒーターの故障）。 →販売店に連絡する。
 「3」℃以下の数値が点滅表示	●水温低下により運転が待機している。 →●本体を暖めるか温水を送り込む。 （「5」℃以上の表示になると運転は自動復帰します。） ●本体内部が凍結していないことが確認できれば、本体の循環ポンプを一時的に強制運転させ、浴水を本体に送り込むことができます。 ＜循環ポンプの強制運転方法＞ 運転を「切」にし、運転スイッチを5秒以上長押ししてください。 （0～4℃を表示中でも10秒間だけ本体の循環ポンプが強制運転します。） ※初回設置時は、必ずむかえ水（p.15 参照）を行った上でこの操作を行ってください。

次の表示は故障や異常ではありません。

紫外線交換ランプとグロー球が寿命のため、交換をお知らせしている表示です。浴水と本体内部を清潔に保つため速やかに交換してください。（p.34）

紫外線交換ランプ点灯時は約 30 秒に 1 回、温度表示部が  になります。

紫外線交換ランプ点滅時は約 30 秒に 1 回、温度表示部が  になります。

7. 異常とその処置

故障かなと思ったら

- 故障かなと思われることがありましたら、修理依頼する前に次のことを調べてください。
- お客様自身で分解修理は絶対にせず、お買い上げの販売店に連絡してください。

症 状	原因と処置方法
浴水が濁る	●使用開始後は浴水の浄化が安定するまで1～2週間かかる場合があります。 →配管の洗浄を行い、浴水を新しく入れ替えてください。 ●バスケットにろ過材は入っていますか？ →ろ過材を入れたろ過材ネットを、バスケットに入れてください。 また、ろ過材が消耗している場合は新品のろ過材をネットに補充してください。 新しいろ過材のお求めは販売店に連絡してください。 ●浄化微生物がろ過材に付着していない。 →配管の洗浄（p.30）を行ってから浴水を入れ替えてください。 ●浴水に市販の入浴剤や温泉水、果物、薬草を投入した。 →市販の入浴剤や温泉水、果物、薬草は使用できません。 入浴剤を使用する場合は、当社指定の循環温浴システム専用入浴剤「別府八湯」（別売品）を使用してください。 （「別府八湯」のお買い求めは販売店に連絡してください。） ●体に塗り薬を使用している。 →塗り薬を洗い落としてから使用してください。 ●水道水以外の水を浴水として使用した。 →水質によっては濁る場合がありますので、なるべく水道水をご使用ください。 ●一度に多人数が使用した。 →使用人数が極端に変わると浄化が不安定になる場合があります。濁った場合は浴水を入れ替えてください。
循環が悪くなった	●トップフィルターの目詰まり。 →トップフィルターを洗浄してください。 ●ろ過材の目詰まり。 →ろ過材を洗浄してください。 ●配管内が汚れている。 →配管の洗浄を行ってください。

7. 異常とその処置

症 状	原因と処置方法
浴水温度が設定温度に上がらない	●温度設定が「OF」になっていませんか？ →「OF」はヒーター「切」状態ですので、温度設定スイッチを押して好みの温度に設定してください。 ●浴槽からの放熱が多い。 →使用するとき以外は浴槽に「風呂ふた」をして保温してください。 ●トップフィルターの目詰まり。 →トップフィルターを洗浄してください。 ●ろ過材の目詰まり。 →ろ過材を洗浄（すすぎ洗い）してください。 ●配管内部が汚れている。 →配管の洗浄を行ってください。 ●ヒーターの故障。 →販売店に連絡してください。 ●ECO モードの設定時間が長すぎる。 →設定時間を短くする、または使用しない。
浴水温度が設定温度より高くなる	●夏場は外気温等の条件により、浴水温度が設定温度より高くなる場合があります。 →足し水をして適温になってから使用してください。
設置直後、操作パネルの紫外線交換ランプが点滅している	●紫外線殺菌装置の周波数切替スイッチがずれている。 →使用地域の電源周波数に切り替えてください。 また、スイッチが正常な位置にあるにもかかわらず紫外線交換ランプが点滅する場合は、一度スイッチを左右にスライドさせてから、再度地域にあった電源周波数に切り替えてください。
浴水の減りが早い	●本体から水漏れしている場合。 →販売店に連絡してください。 ●浴槽の排水バルブは閉まっていますか？ →排水バルブは必ず閉めて使用してください。
ときどき 本体から「カチッ カチッ」と音がする	●次のときは電子部品の作動音がします。 →故障や異常ではありません。 ・ 運転開始時 ・ 加温開始時 ・ 加温停止時

8. アフターサービス

■保証書（別添付）

保証書は必ず販売店または工事店から受け取っていただき、「お買い上げ日、販売店名」などの記入内容をよくお確かめの上、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です。

■修理を依頼されるとき

「異常とその処置」に従って症状を調べていただき、それでも改善されないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間内

保証期間内は保証書の規定に従って販売店が無償で修理させていただきます。

なお、ご依頼時には以下の内容をお知らせください。

- ① ご氏名、ご住所、電話番号
- ② 製品機種名（品名）、型式（定格銘板 ※1）
- ③ 製造番号（保証書及び定格銘板 ※1）
- ④ お買い上げ年月日
- ⑤ 保証書の有無
- ⑥ 故障、異常の内容（できるだけ詳しく）
- ⑦ ご訪問のご希望日

※1：定格銘板は化粧蓋を外した天面に表示

■保証期間内でも次の場合は有償修理になる場合があります

- (1) ご使用上の誤り及び不当な修理や分解、調整、改造による故障及び損傷。
- (2) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス）、異常電圧、指定以外の電源（電圧、周波数）等の影響による故障及び損傷。
- (3) 取扱説明書や本体表示等で禁止を指摘した使用による故障及び損傷。
- (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
- (5) 保証書に販売店名、印、お買い上げ日の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (6) 保証書の提示がない場合。
- (7) 一般家庭以外（例：業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
- (8) 振動が多い場所等、特殊な場所への設置が影響による故障及び損傷。
- (9) お客様の使用方法が影響による故障及び損傷（例：日常のお手入れ不足等）

■消耗品について

消耗品は保証期間内であっても保証対象外とさせていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切りから6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

ただし、補修用性能部品の在庫切れなどにより、表記の保有期間内であっても修理対応を終了させていただく場合がございます。

■お客様の個人情報について

お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無償修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

■ご不明な点は

販売店にお問い合わせください。

9. 仕様

商 品 名	足湯ユニット	
型 式	CA-151V	
浴槽外形寸法	高さ 555× 幅 810× 奥行き 1505 (mm)	
浴槽内形寸法	深さ 310× 幅 660× 奥行き 1000 (mm)	
製 品 質 量	47 kg (24 時間風呂本体を含む)	
最大同時使用人数	5 人	
設 置 場 所	屋内用	
浴 槽 材 質	FRP (硬質ウレタンホーム保温材内蔵)	
電 源	AC 100V 50 Hz/60 Hz	
消 費 電 力	通常運転時 844 W、静音運転時 802 W、高速運転時 168 W	
ヒ ー タ ー	間接加熱ヒーター 750 W	
循 環 水 量	通常 25 L/min、静音 20 L/min、高速 30 L/min	
浴水温度調整	OFF・31℃・37～45℃ (設定 1℃毎)	
循環水量調節	3段階切替 (通常・静音・高速)	
除 菌 方 式	紫外線照射、光触媒 (24 時間除菌)	
浄 化 方 式	物理浄化	トップフィルター
	微生物浄化	ろ過材 (セラミックス)
水 質 基 準	24 時間風呂協議会自主基準に準ずる	
	濁度	2度以下
	過マンガン酸カリウム消費量	25 mg/L 以下
	レジオネラ属菌	10 ² CFU/100 ml 未満
	大腸菌群	1 個 /ml 以下
	検体採取方法	24 時間風呂協議会基準に準ずる
	検査方法	
安 全 装 置	循環ポンプ空運転防止機構 (水流センサー) ヒーター空だき防止機構 (空だき監視センサー、温度ヒューズ) 温度制御装置 (水温センサー) 断線時警告装置 浴水温度過昇保護装置 (水温センサー) 循環ポンプ温度過昇保護装置 (温度プロテクター) 漏電防止装置 (漏電保護プラグ 感度電流 6 mA) 過電流防止装置 (管ヒューズ15 A) 転倒時安全装置 ヒーターリレー溶着警報	
お 手 入 れ	トップフィルターの洗浄	毎日使用後
	浴槽内面のヌメリ除去	毎日使用後
	浴水の交換	1 週間に 1 回以上
	浴槽の洗浄	1 週間に 1 回以上 (浴水の交換時に洗浄)
	ろ過材の洗浄	1 か月に 1 回以上
	配管の洗浄	6 か月に 1 回以上
	紫外線ランプの交換	約 1 年または交換ランプが点灯 (点滅) したら交換
消 耗 品	トップフィルター	傷んだら交換
	ろ過材	摩耗などにより減少したら補充
	ろ過材ネット	傷んだら交換
	紫外線ランプ	約 1 年または交換ランプが点灯 (点滅) したら交換
	紫外線ランプ用グロー球	紫外線ランプ交換時に交換
別 売 品	循環温浴システム専用洗剤「ニュークリーン 24」	

- 製品仕様は品質改善のため、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。
- 消耗品と別売品は当社指定の物をお使いください。当社指定以外の物をお使いになると故障の原因になります。
- 消耗品と別売品のお買い求めは、本機をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

10. その他

光触媒紫外線照射浄化システム

●ダブル制菌システム

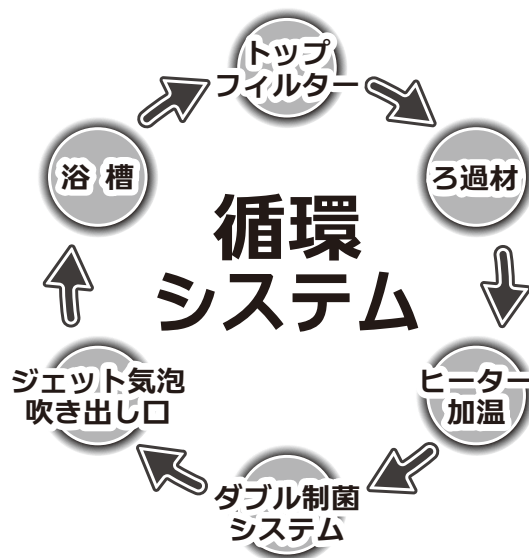
紫外線直接制菌と、浴水中を透過してきた残余の紫外線を、光触媒である酸化チタンに照射して制菌効果を補う、ダブル制菌システムを採用しています。

●トップフィルター

髪の毛、糸クズ、砂、泥など、目に見えるゴミをキャッチします。

●ろ過材

アカ、脂肪類、汗に含まれるアンモニアなどを吸着します。
さらに、不潔な有機物を水に分解します。



経済的なご使用方法

次の項目を実施すると電気料金の節約になります。

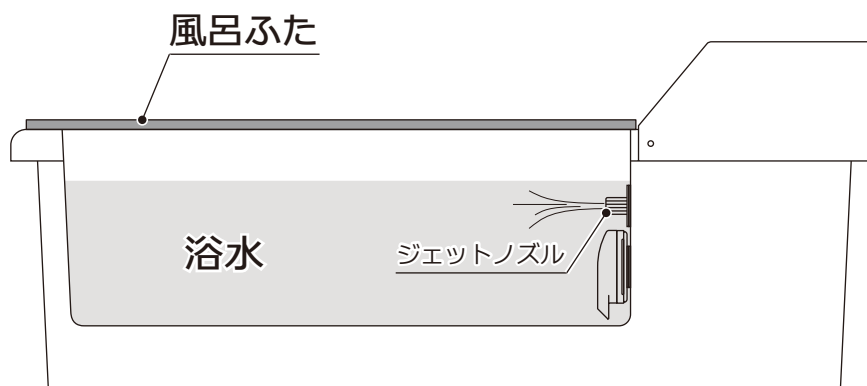
- 浴槽に浴水を入れるときや足し湯をするときは、ぬるま湯または設定温度に近い湯を入れてください。

(ヒーターの通电時間を短くし、電気代が節約できます。)

- 泡出しユニットの「気泡水流 (気泡あり)」は、必要ないときは使用しない。

(ジェットノズルから気泡を出したまま長時間運転していると浴槽のお湯が冷めやすくなるため、誰も使用しないときや浴水の浄化が安定しているときは「水流のみ (気泡なし)」で運転してください。(p.23)

<風呂ふた 使用例>



MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

長年ご使用の 24 時間風呂の点検を！

こんな症状は
ありませんか

- 本体操作部の安心点検お知らせランプが点滅している。
- 電源プラグや電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体ケースなど各部が変形していたり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常がある。

ご使用
中止

事故防止のため、運転を停止させて漏電保護プラグをコンセントから抜き、販売店に点検・修理をご相談ください。

●使い方・お手入れ・修理・その他のご相談は販売店までご連絡ください。

設置日

年

月

日

製造番号

販売店名

住所・電話番号等

 **コロナ工業株式会社**

〒776-8555 徳島県吉野川市鴨島町上浦400-1